

〈東京小諸会信条〉
本会は、東京都及びその周辺に
在住する小諸市出身者とその関係
者をもって組織し、会員相互の親
睦を厚くし、その向上と郷土の発
展並びに社会文化に貢献する。



第40号
発行日 平成28年11月12日
編集・発行 東京小諸会

〒175-0094
東京都板橋区成増2-32-15

渡辺静雄 気付
東京小諸会実行委員会

平成28年度 東京小諸会総会・懇親会を迎えて

東京小諸会 会長 渡辺 静雄



会員の皆様ご多用のところ、東京小諸会総会・懇親会にご出席頂き誠にありがとうございます御座います。

今年も小諸市からは、小泉俊博市長はじめ山岸喜昭長野県議会議長、相原久男市議会議長、掛川興太郎商工会議所会頭、花岡 隆観光協会会長ほかご関係の方々並びにご来賓の皆様にご出席頂き厚く御礼申し上げます。

東京小諸会は、昭和38年(1963年)に当時参議院議員の小山邦太郎氏の呼掛けにより、87名の出席を得て設立総会が行われ、初代会長に小山邦太郎氏が選出され発足しました。以来、歴代の会長、役員をはじめ多くの先輩方のご努力により現在では500余名の会員を擁するまでに発展して参りました。これからも更に会員の増員に努めると共に現在活躍している会員の発掘にも努め、伝統ある本会の発展に努力したいと思っております。

お陰様で、今回54回目の総会・懇親会を迎えることができました。本会の

目的は、「会員相互の親睦を深め、その向上とその郷土の発展並びに社会文化に貢献する」ことです。

今ふるさと小諸は、新市庁舎、図書館、こもろプラザ、ごみ焼却施設などインフラ設備も整いました。この4月には、小泉俊博新市長が誕生し、「小諸に元気と誇りをとりもどす」と挨拶されスタートしました。小諸も例外なく人口減少と超高齢社会に突入しつつあり、このままではまちの活力が更に失われる危険性があります。まちの活性化の為に、居住人口の増加策をあらゆる情報・知恵を集め市民との共働で確実に推進して欲しい。そして子ども教育、健康環境面でも住み易く、小諸に住みたいと云う人が増えることを望んでいます。その一方、特徴ある一次産業の活性化支援、6次産業への発展、商都小諸の復活、観光の更なる産業化など一歩一歩進めて欲しい。

私も7月の市民まつり、健速神社例祭、第74回藤村忌に出席して参りました。藤村忌は雨にも関わらず多くの皆様の気持ちのこもった集いでした。

また市民まつりでは、小泉市長はじめ市の幹部、役員の方々が先頭に立ち盛り上げておられました。特に多くの子供達が元気に明るく躍動している姿が目立ちました。こんなに多くの市民がどこから来たのか、熱気溢れる活力を大いに感じました。

この様な催事を積極的に内外にアピールすることが必要だと考えます。近年定着しつつあるお人形さんめぐり、城下町フェスタなど各種イベントもいづれ伝統行事として定着することでしょう。今年は各種イベントを「信州小諸」センゴクまつりとしてまとめ大々的に行われるそうです是非盛り上がることを期待します。

私たちもふるさと発展の為に何かお手伝いできることはないでしょうか。

「信州小諸ふるさと応援寄附」を提案します。9月中から内容が大幅にグレードアップし再スタートしました。主なものは、返礼品が4種類から73種類に、また、インターネットからも寄附受付が出来る様になりました。皆様のご支援でふるさと小諸を元気にして頂けないでしょうか。交流人次にまちが発展する為には、

総会・懇親会次第

- 一、開会の辞
- 一、会長挨拶
- 一、総会議事
 - ① 会務・会計報告
 - ② 監査報告
- 一、来賓紹介・祝辞
- 一、さらら会演奏会
- 一、懇親会
 - ① 開会の辞
 - ② 県歌斉唱
 - ③ 鏡開き
 - ④ 乾杯
 - ⑤ 開宴・歓談
- 一、中締め
- 一、閉会の辞

来年の東京小諸会総会・懇親会は

十一月十一日(土) 如水会館二階スターホールで開催します

口の増大が望めます。私たちが協力できることは、自ら帰省し各イベントに参加してふるさとの良さを再発見して広くPRすることにより観光客を誘導して頂きたく提案します。また、小諸市観光協会の「小諸応援隊」にも入会し積極的に参加して観ませんか。

その為には魅力ある小諸観光の姿を常に追求して頂きたい。例えば観光スポットの連鎖として、現存する神社、寺院などのルーツを訪ねる「神社・仏閣めぐり」などで市内を回遊して貰い、観光客にもっと小諸を知って頂くなど。また、恵まれた地形を活かし高地トレーニングのメッカとして国内外にPRし知って頂く努力も必要と考えます。

また「そば」に並ぶ美味しい創作料理の開発、農産物のブランド化など、来訪者も車、電車、高速バス、家族連、団体客、個人など多様なケースを想定したインフラ整備を期待したい。今年NHKの大河ドラマ「真田丸」の余波で各地からの観光客が小諸にも訪れていると聞いていますが、果たして宿泊客のおもてなしは、又魅力的な小諸おみやげはありましたか、食事などの満足度は如何でしたか。この経験を活かして次の策に繋げて頂きたいと思えます。これからも上田、佐久、軽井沢などと連携を図りエリアで観光客を誘致する戦略も立てて頂けることを期待します。

繰り返しになりますが、地産地消、一次

産業育成充実、6次産業育成強化などが働く場の提供となり居住人口の増加にも繋がると考えます。まだまだやることがいっぱい小諸にはあると思われれます。これからも積極的に推進されることを願っております。私たちも微力ながら応援したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

終わりになりましたが、今年も総会・懇親会の開催に当り、小諸市(株)香坂建設、常盤館、コミー(株)三和シャッター工業(株)のぞみグループ(株)つるやホテル(株)コトブキ(有)草笛 中棚荘 布引温泉 泉こもろ 尾沼リング園 大池リング園(有)丁子庵 お人形さんめぐり実行委員会(株)ツルヤ(株)三ツ和小諸そば事業部(株)大塚酒蔵 信州味噌(株)マンスワイン(株)サッポロビール(株)また新規に高峰高原ホテル、小諸高原ゴルフコースさんにご協賛頂きました。

また、例年に倣い本会の役員有志の方々にもご協力頂きました。改めて厚く御礼申し上げます。



「小諸に元気と誇りをとりもどす」 —私の基本姿勢—

小諸市長 小泉 俊博



東京小諸会「平成28年度総会・懇親会」が、大勢の会員の皆様並びにご来賓各位のご出席のもと盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

また会員の皆様におかれましては、「ふるさと小諸」を離れ、お元気でご活躍されておられますことに、重ねてお慶びを申し上げます。

そして平素より小諸市に對しまして温かく力強いご支援、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、私は本年4月19日、第八代の小諸市長に就任いたしました。早いもので7カ月を迎えようとしております。

今回は、せっかく頂いた機会でございますので、私が小諸市政を運営するにあたり、常に心掛けている基本姿勢について、その一端をご紹介させて頂きたいと思えます。

今回の市長選挙におきまして、私は繰り返し「小諸に元気と誇りをとりもどす」と訴えてまいりました。これはかつての小諸は

商都として栄え、歴史や文化の中心地として輝かしい街でしたが、近年では多くの課題が山積し、元気と誇りを失いつつあること、そこに追い打ちをかけるように急激な人口減少と超高齢社会が到来するなか、更にまちの活力が失われてしまうとの大きな危機感によるものです。

現在、全国の多くの自治体は、かつて経験したことのない、大変厳しい状況を迎えておりますが、幸いにして我が小諸市には、先人達が遺してくれた素晴らしい歴史や文化、豊かな自然など、数多くの資源が残されています。市民一人ひとりが、その財産を再認識し、それをかけがえのない小諸の財産として誇りに思い、自分たちが新たな時代を切り拓こうとの想いを結集させることができれば、小諸市は再び「元気と誇りをとりもどすことができる」と確信しております。

その実現に向け、私は次の3つの基本姿勢で市政運営にあたることを掲げ、施策の推進にあたってまいります。

1. 民間出身の市長として「民間の発

想と着眼点で市政を創り、行動する」

送り手である「官」から、受け手である「民」の発想と着眼点により、戦略的かつ効率的な市政運営を進めています。市民の皆様の満足度を高めることは当然として、「コストを意識した効率的な業務の徹底」や「自ら考えて行動する」よう仕向けることにより、小諸市役所が文字通り「市民の役にたつ所」として、市民の皆様にご満足いただけるサービスを提供してまいりたいと考えております。

この点につきましては徐々にではありませんが、小諸版カイゼン方式により職員が相互に知恵を出し合い、汗を流してサービスの向上に努めたり、作業効率の改善により時間の削減の取り組みを行っています。また、これからの小諸市役所を担う若手職員とのコミュニケーションは特に重要であると考え、私と昼食をとりながら意見交換を行う「ランチミーティング制度」を導入し、提言やアイデアを共有する取り組みも開始しました。

2. 「地域の課題解決に市民と共に協働する」姿勢で取り組む

人々のライフスタイルが多様化する今日、従来のように行政だけで様々な課題を解決することが極めて困難となっています。そのような中、地域の身近な課題を解決していくためには、市民や各種団体、そして行

政が同じベクトルで、共に汗を流しながら解決しなくてはなりません。つまり、「地域の皆さんの持つ力」を結集し、それを行政が増幅していく「協働と連携」こそが、地域の課題を解決する唯一の手段であり、そのために地域で頑張っている人や団体、企業などを応援する仕組みを構築したいと考えています。また、市職員が地域の実情に応じた助言や、要望・課題をお聞きするため、地域に寄り沿う「地区担当職員制度」も、機能の充実強化を図っているところで

3. 「政財産学官、中央との太いパイプや先人達が遺してくれた元々小諸市が有している様々な財産を市政経営の戦略に活かす」

私自身がこれまでの経験で蓄積した人脈や、小諸が有している様々な資源を小諸市のチカラに変えていきます。これは、政治や経済分野に限ったことではなく、文化や芸術なども同様であり、小諸市が持つ素晴らしい資源を活かし磨き上げ、「小諸ブランド」として新たな価値を創り上げてまいります。この点につきましては東京小諸会の会員の皆様のお力並びにその人脈を活用させていただけると幸いです。

紙面の都合上、具体的な政策についてお伝えすることはできませんが、私が小諸市の行政運営を行うにあたり、常に心掛けていく基本姿勢をご紹介しますいただきました。

最後に、最近のトピックスとして、これまでもご協力をいただいております「信州小諸ふるさと応援寄附金制度」(ふるさと納税)を、9月15日より大幅に拡充し、自主財源の確保の強化と信州小諸を広くPRする取り組みを開始いたしました。これまでも、本制度によりご寄附頂いた方には、お礼の品として小諸の特産品をお送りしてまいりましたが、今回の拡充により、返礼品の数を4種類から一気に73種類へと増やし、魅力アップを図っております。東京小諸会会員の皆様には、ふるさと小諸の発展のため、引き続きのご協力をお願いいたしますとともに、ご家族やご友人の方にもPRをして頂けましたら幸いです。

今後、ふるさと小諸に温かいご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げますとともに、皆様の更なるご健勝と、東京小諸会の限らない発展を心からご祈念申し上げます。平成28年度総会・懇親会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



会員の新聞本紹介

Komy 物語選書
吉村克己 著

「主張できる日本人になる」

発行所 コミィ株式会社(代表取締役社長 小宮山 栄氏(鶴巻))
本体価格 880円

鶴田国昭に学ぶ 世界に通用する人間力とはどういうことか。

丸山隆平 著(六供)

「まるわかり FinTechの教科書」

出版社 プレジデント社
本体価格 1300円+税

今の世の中、ITと関わりなしに生きることはできない。お金と関係なしに暮らすことも無理だ。今、米国発の新しい動向——金融とITが「相乗」した「フィンテック」(FinTech)を解説。

山崎和邦 著(与良町)

「投資市場における、賢者の習慣、愚者の習慣」

武蔵野学院大学 名誉教授
日本実業出版社(11月発刊)

著者自身、56年間の実践と理論で結果を築いた不滅の相場常勝哲学。

小諸市の観光の現状と今後の小諸観光の姿

小諸市経済部商工観光課長 平井 義人

① 近年の観光の現状

小諸市は、「小諸城址懐古園」や「北国街道」を始めとした歴史的な資源、「島崎藤村」や「白鳥映雪・小山敬三」などの文化人、また「浅間山」や「千曲川」といった雄大な自然と美しい景観など、多くの観光資源に恵まれ、昔から多くの観光客が訪れるまちでありました。しかしながら、現在は観光客の価値観やニーズは多様化し、団体旅行から個人旅行へと観光の形態が変化してきている中で、ニーズに合ったサービスを提供する体制が十分にできていないことや観光施設の老朽化などもあり、近年の観光客数はゆるやかな減少傾向となっているのが実情です。



初夏の三の門

懐古園もかつては列をなしていた団体バスの数は大きく減少し、そのかわりに年配

のご夫婦や子ども連れの家族など、個人の旅行者が増えてきています。又その目的も藤村の「小諸なる古城のほとり」の懐古園ではなく、NHK大河ドラマ「真田丸」に出てくる「小諸城」であったり、テレビアニメ「あの夏で待ってる」の舞台となった「懐古園」であったり、インターネット検索サイト「Yahoo!」でも紹介され人気となっている小諸市動物園のペンギンの「流しアジ」であったりと様々です。

浅間山や高峰高原は、近年若い女性から年配者まで年齢層を問わず登山・トレッキングがブームとなっており、ことから来訪者は増加傾向にありましたが、平成27年6月にごく小規模な噴火があつて以降、浅間山の噴火警戒レベルが上がり前掛山頂までの登山ができなくなりましたことから平成27年度の来訪者は大きく減少してしまいました。

② 小諸市観光地域づくりビジョンの策定

このように観光客のニーズが多様化した状況の中において、従来と同じような観光振興策を続けていても観光客の減少に歯止めをかけることはできません。そこで、ニーズに合った、新たな価値観に対応した戦略



(春) 布引観音

を立て、観光関連団体に限らず様々な事業者や団体、また住民一人ひとりが同じ想いを持って、オール小諸で観光を基軸に地元を活性化させるための方向性を示した「小諸市観光地域づくりビジョン」を平成25年から3年間の検討期間を経て平成28年2月に策定しました。

ビジョンの中で定めた「観光地域づくり」のコンセプトは、『詩情あふれる高原の城下町々ようこそスケッチ文化都市へ！』です。このコンセプトは、将来ともこうあってほしいという小諸の理想像であるとともに、それぞれが唯一無二な小諸市の価値でありブランド価値であることを表現したものです。このコンセプトにより、自分たちだけでなく子どもたちの世代の郷土愛を醸成し、将来も住み続けたいと思えるようなまちづくりを目指していきたいと考えています。

ビジョンでは、観光地域づくりに向けた今後の課題がいくつか示されています。「観

光に関わる各団体・組織の連携が希薄」「住民の郷土愛低下により、観光・交流客に対するおもてなし意識が不十分」「観光施設などのインフラ整備、多様な関係者が参画した滞在プログラムの不備」などが挙げられています。特に「観光地域づくりを推進するかじ取り役がない」という課題は全ての土台となる大きな課題となっています。

③ (仮称) 小諸市観光局の設立に向けて

「観光地域づくり」に向けて、行政や観光協会のみならず住民や団体がしっかりと連携して、それぞれの役割を明確にしながらそれぞれの責務を果たすことができるよう、そのかじ取り役となる組織の設立準備のために、今年6月に「小諸市観光局(仮称)設立準備委員会」が発足されました。小諸市観光協会の花岡会長を準備委員長に、商工会議所、金融団、農協、商店街連合会、市議会、市民公募委員など幅広い分野からの委員を募り、かじ取り役となる(仮称)小諸市観光局の設立に向けた準備を進めています。

(仮称)小諸市観光局は年内には一般社団法人として法人化し、旅行会社のように旅行ツアー商品の企画販売もできるように旅行業の登録も行い、来年4月には運営をスタートする予定です。

小諸の魅力を一元的に情報発信するとともに、小諸の素晴らしさを体感できる滞在

プログラムを用意してお客様に楽しんでいただけるよう、準備委員会では現在、専門部会として幅広く関係者に集まっていたいただき、アイデアを出し合い、地域の観光資源をつなぎ合わせて小諸の魅力を伝える旅行商品づくりを進めているところです。

4月以降には、小諸の魅力を体感し、楽しめる、滞在型体験プログラムの提供も開始しながら多くの観光客をお迎えしたいと思っておりますので、ぜひ小諸へお出かけいただき、それを体験し、又宣伝していただければ幸いです。

最後に、東京小諸会の皆様には、観光協会小諸応援隊への加入をはじめ小諸市の魅力発信に積極的に取り組みいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今後とも小諸市の観光振興、地域活性化に対するお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。



信州小諸観光 下半期 イベント情報

(小諸市観光協会等提供資料から抜粋)

- 1 小諸城展 2016年9月10日(土) ~ 10月16日(日)
 - 真田丸「第二次上田合戦」で徳川軍が本陣とした小諸城は戦国時代の複雑堅固で難攻不落の城の姿をしていた。
 - 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
 - お問合せ 電話0267-2612070
- 2 小諸城展開催記念シンポジウム
 - 10月8日(土) 午後1時30分より
 - 「地域文化財の活かし方」語る・討論する
 - 出席予定者は下記
 - 森江 宏(元博報堂総合プロデューサー)
 - 田中法博(長野大学企業情報学部教授)
 - 小泉俊博(小諸市長)
 - 斉藤洋一(郷土博物館館長)
 - 場所 白鳥映雪館
 - (先着150名限定、入館料含み無料)
- 3 第5回 信州小諸「城下町フェスタ」
 - 9/17(土) ~ 9/22(木/祝)
 - 小諸宿の町屋と蔵が、16のギャラリーに、アート・手仕事・味文化をめぐる6日間
 - 町屋&ギャラリー
 - open 10:00 ~ 16:00
 - 小諸センゴク甲冑隊展(大手門2階)
 - 小諸城と城下町店(本陣主屋)
- 4 「信州小諸」センゴクまつり 秋の陣
 - 2016/09/16 ~ 11/20
 - *北国街道蕎麦グルメウォーキング
 - 10月1日(土) 大会受付7:15
 - 仙石秀久・伝来400年の「蕎麦切り」
 - 発祥の地 蕎麦三昧・蕎麦グルメめぐり
 - スタート「追分宿」▼「三ツ谷」▼「平原宿」▼「小諸城・大手門」ゴール
 - 主催…浅間サンラインネットワーク
 - (主幹・小諸市観光協会)
 - *センゴク合戦ウォーキング
 - 10月16日(日) 大会受付 7:00
 - 小諸城から出陣じゃ! 戦国歴史めぐり
 - いざ! 上田城へ
 - スタート「小諸城」▼「海野宿」▼「信濃国分寺」▼「上田城跡公園広場」ゴール
 - 主催…小諸市観光協会
 - (0267-2211234)
 - 小諸市相生町1-1-1小諸駅舎内
 - お気軽にお寄り下さい。
- 5 第13回北国街道「お人形さんめぐり」
 - 平成29/2/18(土) ~ 3/5(日)
 - 本町通り・ほんまち町屋館・小諸本陣主屋 相生町・市町・荒町・与良町
 - 冬の小諸を味わう!!
 - 見て、食べて、歩いて……癒しの時をお楽しみ下さい。
 - 連絡先は ほんまち町屋館(0267-2512770) 小諸市本町2-2-9
- 6 無料ガイドの「案内」小諸城址懐古園
 - 「北国街道小諸宿・城下町小諸・商都小諸」
 - 小諸城址懐古園コース・北国街道Aコース(本町・市町) Bコース(荒町・与良)
 - その他コース(布引観音・虚子の散歩道・藤村の散歩道他) 小諸観光ガイド協会
 - 抜粋まとめ 東京小諸会

*第16回城下町忍者ラリー

11月20日(日) 10時~14時 無料
子どもたちを対象に家族で参加できる「楽しくするための」イベントです。

守りの固い小諸城を、クイズを解きながら体験し、忍者修行にもチャレンジ!

主催…小諸街並み研究会(0267-2311881) エイワ税理士法人内

*小諸城址懐古園紅葉まつり
場所 懐古園

期間 10月15日(土) ~ 11月20日(日)
甲冑野点 10月29日(土)
11月5日(土) 11月12日(土)

姉妹都市、滑川市の紹介

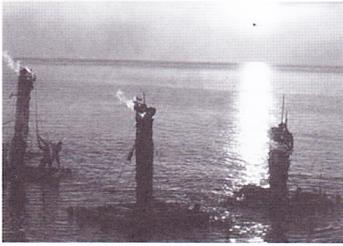
東京小諸会総会・懇親会には東京滑川会（富山県滑川市ご出身の方々のご同郷会）から毎年、役員の方々にご出席いただいております。

昭和49年に滑川市と小諸市は姉妹都市になりました。滑川市は富山湾に面した海の街、小諸市は浅間山の麓の山国の街、海と山生活も文化も歴史も異なる2つの街です。

日本海を望む潮騒の街、滑川市は、北アルプス立山連峰の北西、富山平野に位置しています。古くから越中売薬として親しまれている配置家庭薬と神秘的な光を放つホタルイカのまちとして全国に知られています。また近年は、精密機械、電子、化学工業等のハイテク産業の発展が著しい街として躍進しています。

懇親会を機会に、遠く日本海に想いを馳せて、東京滑川会の方々ともご歓談されまして、話の輪が広がることを期待します。

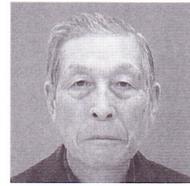
なお、滑川市をはじめ、岐阜県中津川市、神奈川県大磯町も姉妹都市です。



滑川市中川原海岸（和田の浜）の民俗行事「ネブタ流し」（国指定重要無形民俗文化財）

「ふれあいの森」寸記

東京小諸会 清水巻郎（田町）



毎日「ふれあいの森」へ歩きにゆく。駅の北一里程のところにある。一部は遊園地になり、一部は桜などの樹が植えられているが、上のほうは森になっている。昔は歩いていったが、今は車でゆく。晴れた日は勿論であるが、少々の降りなら雨でも雪でも歩きにゆく。毎日森の表情がちつてくる。それにふれるのが楽しい。この森の冬が好きです。何かを調べようとか、研究しようとか、高い志を持ったものではない。所詮、暇人の時間潰しなのです。これが一種の中毒で止められないのです。何か余祿があるとするれば自然にふれる喜びであるか。或いは脚の衰えを先送りしてくれているかも知れない。

この森には四季を通じて様々な鳥がいる。然し声を聞いても、どんな鳥かわからない。姿を見ても名前を知らないというところで、何か満たされない思いをしていたが、凶鑑をもつてゆくようにしてから楽しみが増えまわった。冬には北の方から寒さを逃れて冬鳥がやってくる。留鳥でも高い山の方にいたものが里山の方に下りてくる。餌があるのである。時々羽毛が散乱しているのに出会う。鷹が襲ったのだろうか。

柿の木があつてとる人もなく、葉の落ちたあと赤い実がついたままになっている。晴れた日に青空に浮かぶ姿は風情がある。熟れると鳥たちがきて啄む。食べごろを知っているのである。強いのはヒヨドリで、シジュウカラなどは隙をみて食べている。集団で移動するヒワ、アトリ、イカルといった鳥は数の力で群がって食べていてヒヨもタジタジなのが面白い。

最近、見慣れない大きい鳥に出会った。茶色い胸毛、黒い羽根に白い線、飛ぶと腰の辺りが白い。カケスである。ガと鳴く声は聞いていたが、葉に隠れてみえなかったのである。

又、或る時、ピョーという鳴声で見上げると、高い木の上の方で幹につかまりながらグルグル廻りコンコンつ、いている。キツツキである。赤い頭、うぐいす色の羽根から、アオゲラとわかった。大きな鳥なのだ。イカルはヒワやアトリのようにキョツ、キョツと鳴くので区別がつかなかったが、黄色い嘴でちがいがわかった。一羽でいるもの、数羽でいるもの、数十羽の群でいるもの、狭い範囲にいるもの、広範囲に移動するものなど、今まで知らなかったことがわかって来て楽しい。

鹿は毎晩来るらしく、足跡と新しい糞がある。狸などは雪に足跡が残っている。歩

くルートがあるようで決まった場所にみえる。けものみちというのだろうか、餌の少ないこの冬は動物たちにとっては厳しい季節である。

森には色々の人達がやってくる。常連がいる。ダンベルマン、ペットボトルの男もそうである。これは私がつけたニックネームで、ダンベルマンはダンベルを持ってきて何時も決まったところで鍛えている。ペットボトルの男はペットボトルをぶらさげて離さない。会えばヤァと声掛けする。少々の雨や雪でもきている。かなり重症の様だ。人のことを揶揄しているが私も〇〇マンとかネーミングされているに違いない。メクソがハナクソを笑うに似ている。

中高生が休日には部活で坂道や階段など走って上り下りして鍛えている。行き会々と大きな声で「お早うございます」と挨拶される。こちらもお早うございます。頑張つてと返すが、気持ちがいい。監督や先生から褒められているのである。羨は小さいときがよい。田舎は狭い社会だし、共同体意識が強いことがあるかも知れない。

森の開けた場所から、晴れた日には南アルプスが見える。白い嶺が美しい。神々しくもある。自分の登った山は忘れない。あの日あの時の思い出が、又行きたい、又登りたいと思わせるのである。

この寒さの中、梅が咲き、桜の蕾が膨らんでいる。春が来ているが、然し去りゆく冬が惜しい気もある。（終）

（1月好日記）（塩山在住）

私のふるさと 小諸の川

東京小諸会理事 木俣美紀子（市町）



私は小諸に生まれ、高校卒業迄そこで過ごしました。その後、大学、就職、結婚で東京に住み、

今は埼玉県越谷市の北側に住んでおります。連れ合いも小諸出身なので、若いころからちよくちよく帰省いたしました。その当時はまだ高速もなく、時間がかかって大変でした。そのうちに高速も開通し、次第に便利になり昔の半分の時間となりました。



現在住んでいる所は平地で、橋の上から筑波山と日光連山、富士山がわずかに見えるくらいです。その点、小諸に行くと四方山に囲まれ景色が良く、空気がきれい、水がきれい嬉しくなります。

散歩道の途中、水が大量に湧いている所があり、そこから流れ出す水は透明で飲用出来、流れ下って花川となり、千曲川までの田んぼをうるおしています。湧水池は弁天の清水とよばれ、多くの人が水を容器に入れ、持ちかえっています。

時々懐古園にも行きます。昔の懐古園は整備されておらず、石垣も崩れそうなどころがあり、遊歩道もぬかるみになったりしていました。最近はとてもきれいになりました。桜の季節や紅葉の季節は、特に素晴らしいと思います。観光客も増えているようです。子供の頃から数えきれない程見てきた光景です。

美術館を見たりもします。絵の鑑賞は年齢と共に観た時の印象がどんどん変わることを実感します。この頃はゆつくり楽しむことが出来るようになりました。高原美術館で白鳥映雪や丸山晚霞、その他特別展等を楽しんでいます。三か所とも行きやすい所があるので繰り返し訪ねています。

私を通った幼稚園は坂の上の教会にあり、小学校は坂の上小学校です。どちらも町中から坂を上って行く所でした。冬の凍った坂道を下駄履きで歩くのはとても怖かったのを覚えています。

高齢になり、時間がありますので、毎年同級会が開催されます。幹事の方が小諸周辺の温泉や観光地などを設営して、案内してくれます。昔は無かった所や知らなかった所がけっこうあるので驚いています。子供のころは名所旧跡等にあまり関心がなかったのかも知れません。同級生とは皆、名前呼び合って、「何々ちゃん」などとよびあっています。その時は子供のころがつい昨日のようによみがえって、とても若返り、楽しいものです。同級生は市町本町の人達が多くいて、お互いの家に行ったり来たりしていました。古い商家の家など、とても懐かしく感じます。

最近、りんご狩りにも行っています。産地のりんごは新鮮で、食べるとパリパリ感があり、甘みも味も越谷のスーパールのりんごとはまったく違います。りんごは小諸に限ると勝手に思っています。大池りんご園にはお世話になっていきます。

一昨年七月に小諸へ行った時、たまたま祇園祭りの日にぶつかりました。子供のころは市町の本陣に住んでいましたので、家の前に祇園の神輿がとまり、それはそれは威勢の良いものでした。

今回は本町から市町への神輿を渡す儀

式を見学することが出来ました。「よいよ」、「よいよい」と云う独特の掛け声で、もう渡すかと思うとまた引き返す。これが何十回も繰り返され、いやがおうでも盛り上がってくる雰囲気は素晴らしかったです。本町の下の方で待っているだけでしたので、実際の光景は初めてでした。そして家々の入口に綺麗な提灯がかかっているのもお祭りを盛り上げていました。

昨年十一月に新しくなった市役所や図書館などの建物施設を見学させていただく機会がありました。きれいで立派にできてすばらしいと思いました。十二月には早速図書館にいったカードを作り、帰りに隣接して出来たカフェに入ってみました。おしゃべりな感じで、ちよつとひと休みするのにとても良い、と思いました。

小諸がきれいになっていくことは、嬉しい限りです。これからも元気であるかぎり、小諸行きは続くと思います。友人ともお互いに元気なようねと声を掛け合っています。

最後になりましたが、東京小諸会では大勢のなつかしい同郷の方にお会いできるのがうれしいし、小諸高校音楽科出身の方々のすばらしい演奏を聴くことができ、心が温まる思いがします。若い時には自分の周りのことでせい一杯でしたが、此頃は出席が楽しみになりました。これからも会が続くことを願っております。

クルージングをしませんか

東京小諸会理事
株式会社イナガキ代表取締役 稲垣信克 (中欄)

私は昭和31年に小諸商業を卒業し、東京に出て働き33年に独立し、現在に至っております。

知り合いに誘われ水上スキーを始めたことがきっかけで、海で遊ぶようになりました。クルージングにも挑戦しました。

最初小型ボートを買いましたが、次々と取り換え、42フィート大型の時期もありましたが、現在はサロンクルーザーアメリカン34フィートに乗っております。



水上スキー、ウエイクボード、クルージングとマリン・スポーツをエンジョイしておりますが、もし興味が有りでしたらサークルでやっていますので一緒に楽しみましょう。

海の世界を経験すれば陸とは違った世界が開けます。

仕事ばかりせず悔いのない楽しい人生を送りませんか。

60歳からの学園経営 (不登校生の為の新たな学園の創造)

東京小諸会理事
松実高等学園理事長 松井石根 (南町)



I. 初めに

東京小諸会への寄稿を依頼された。小諸は野岸小学校、小諸東中学校、上田高校を通

じ、身近な存在である。そのお返しのため

りでこの原稿を書いた。郷里の機関紙である

ので極々身内のつもりで、自分の歩んで

きた道と、これから歩もうとしている人生

を過去への自省と未来への刺激として記し

て見ようと思う。懐かしい郷里小諸の先輩

諸氏との大勢のご縁を深めることが出来れば

幸いと思う。

最初に60歳までの人生をお伝えし、その

あと学園についてお知らせしたいと思う。

II. 小諸時代

私の小諸時代は生まれてから高校卒業までの18年間である。小諸町(当時)南町の丁度石原町から下ってきて南町と突き当たった場所に当時としては珍しい木造三階建ての家が18年間の生家である。祖父は鷹之助とい

に祖父母と父の弟夫婦家族と私の家族合計13名の大家族で生活していた。大人6名と私を年長に男の子4名、女の子3名の生活を高校卒業まで送った。

現在は南町から黒橋への道路拡張により建物は撤去され昔の面影は皆無である。

上田高校を卒業して、大学及び新入社員時代の生活は東京で送った。

結婚後数年間は東京で新居を構えたが、その後春日部市に居を移し、現在に至っている。

III. 職業歴

大学卒業後、東京生命保険会社に入社、財務部を経て、野村総合研究所で学んだ。27歳のとき、資本自由化の波により、外資系保険会社アメリカンライフインシュアランスカンパニー(アリコジャパン)の日本進出(外資第一号)の認可申請及び経営に携わり、その後41歳のときオランダの保険会社ナシヨナール・ネーデルランデン生命保険会社(ING生命)の認可申請及び経営に携わり、更に49歳のときスウェーデンの保険会社スカンデアの認可申請に携わった。

その後生保損保の相互乗り入れの動きの中、富士火災、興和火災や外資のアンソール保険会社の特別顧問等を歴任した。24歳から50歳後半までは保険会社だけの職業経験である。この間50歳から55歳まで共栄大学国際経営学部で非常勤講師として保険論の講座を受け持った。

59歳になり、後述の経緯により不登校の児童生徒のための学園を設立して（平成15年）今日に至っている。

Ⅳ. 職業以外の社会活動

勤務しながら35歳から55歳までに行ってきた社会活動は、主に地域活動とPTA活動である。

1. 地域活動

39歳のとき現在の住所に移し、新たな自治会を作り、初代の自治会長に就任した。同時に民生児童委員に選任され、民生委員9年、自治会長4年、地区長13年計17年間春日部市の地域活動に従事した。春日部市を中心に市及び埼玉県の地域活動を通じて、多くの知人を得た。

2. PTA活動

41歳のときに子供の通う小学校のPTA会長の依頼を受けた。サラリーマンとして、地区長としての合間にPTA活動ができるかどうか迷ったが年数回ということ引き受けた。引き受けてみると毎週何ら

かの行事や会議があり閉口したが、PTAの会議は土曜日、地域活動は日曜日と定め仕事との調整をした。しかし、1年を経過すると春日部市のPTA連合会会長、埼玉県のPTA連合会会長、そして社団法人日本PTA全国協議会会長と14年にわたりPTA活動に携わることになった。

仕事との調整は当初大変であったが、外資系保険会社での恵まれた立場にいたので地域活動やPTA活動も相当長きにわたり全うできたことは幸いであった。

日本の保険会社以外にアメリカ、オランダ、スウェーデン等の保険会社での経験は実体験として海外を知る機会となったが、合わせて、地域活動やPTA活動を通じ、地域社会や教育の世界、行政関係者との知遇を得て、産業界、教育界、行政関係を連携して思考することができるようになった。このことは、埼玉県や国の審議会等委員になった折に、大変役に立ち、堂々と自己主張をすることができた。また、これらの経験が60歳を目前にして、保険会社の全ての役職を退き、また、全ての公職を退き、裸一貫で不登校の為の学校を設立するための精神的バックアップとなった。その後の学校経営にも大いに役に立った。

V. 松実高等学園の設立

1. 学園設立の経緯

(1) 不登校問題へのかかわり
不登校の児童生徒の問題は20年前頃から

社会的問題となりました。私自身は会社勤めをしながら、長年PTA活動をしてきました。児童生徒の問題行動として捉えられている不登校やいじめ問題について特に関心をもち、文部科学省の児童生徒の問題行動調査協力員会議のメンバーや埼玉県PTA連合会の会長として、数々の提案をしてまいりました。その一例が埼玉県公立中学校420校に配置されたさわやか相談員制度です。

(2) 不登校生の学校設立、高等部の開校

しかし、相談所の設置はあくまで相談であり、日常的に児童生徒に接し、毎日通学して教育をうけるというものではありません。児童生徒を毎日受け入れその児童生徒の教育を行う教育機関が現実にはない状況でした。児童生徒が学校以外に学ぶ居場所の設置が必要だと痛感して、平成15年2月に勤務をやめ、不登校生徒の居場所としての私的教育機関松実高等学園を設立しました。単に私的なフリースタールの教育機関では信用を勝ち取るまでには相当な年月がかかるかと判断して、学校教育法を根拠とする通信制高校との連携により、松実高等学園に通園するだけで高校卒業資格が取得できる技能連携校の認可を埼玉県から取得、正式な教育機関として高校の不登校生や中退者への対応を始めました。

(3) 初等部・中等部の開校

小学生や中学生の不登校受け入れ先は全国でも殆ど無い状況でしたので、文部科学省の初等中等局長に働きかけ、松実高等学園に通うことにより、在籍校に行かなくても出席扱いになるという文部科学省通達適用校として初等部中等部を開校した。児童生徒の在籍学校との連携をとりながら不登校や中退者への対応を始めました。

(4) 学園の使命

スウェーデンでは「障害は環境に対する不適合をいうのであり、環境に適合すれば障害ではない」という考えがあります。まさに不登校は学習環境に対する不適合ですから、適合する新たな学習環境を創ればよいという考えで学園の社会的使命を確立しました。



初等部の校庭



中等部の運動会

(5) 株式会社での運営

そのため新たな学習環境を用意するために、教職員の充実(少人数クラス)や教育設備の拡充等当初予定した以上に資金が必要となり、個人の資金では到底対応できるものではなくなっていました。また、金融機関との取引も個人では限度があり、生徒数が80名を超えた平成18年11月にISM株式会社を設置して株式会社による学園活動に切り換えました。株式会社であることにより消費税や法人税の納税があり、また、一切の補助金の支援もありません。運営は極めて厳しい状況でした。

(6) 多くの子どもたちの夢と希望を叶えるために

今後更に増加すると予想される発達障害

児童・生徒を含めた不登校の児童・生徒を受け入れ更に充実した学習環境の下で、学園独自の教育方針により、不登校生の自立を積極的に進めてまいりたいと思います。そのためには当学園の社会的活動にご賛同ご協力していただける方に活動のご支援をお願いして、学園の活動基盤の安定を図り、不登校児童・生徒の一層の自立の為の教育活動に専念できる体制を築いていく必要を痛感しております。

2. 松実高等学園の概要

(1) 学園の使命・教育目的

不登校の主な原因は、個々の児童生徒に対する学習環境の場が現在の教育システムでは多様化されていないことであると位置づけました。同一学年同一授業により画一的な現在の学校教育制度では、個々の教育環境や教育段階に応じて多様化する児童生徒の学習需要にすることが出来ません。このような状況では不登校児童生徒が減るところかかえて増加すると思慮します。またこの事は「いじめ」をはじめ、児童・生徒の問題行動の増加の重要な要因になっているとも言えます。

このような教育環境に鑑み、当学園では、不登校児童生徒に留まらず、学習環境の不適合な幼児・児童・生徒に対する学園として、個々の幼児・児童・生徒等に対する個々の学習環境を創造して提供する学園として今後の活動を展開していきます。

学園の使命・個々の学習者の適性に対応した学習環境を創造する
学園の教育目的・自立と共生

(2) 現在の活動(平成28年度現在在籍者

330名、卒業生数861名)

不登校児童生徒に対する学習環境の創造事業

① 松実高等学園高等部(埼玉県認可)..
在籍者200名

② 松実高等学園中等部(文部科学省通達
適用校)..
在籍者100名

③ 松実高等学園初等部(文部科学省通達
適用校)..
在籍者30名



高等部の生徒

お人形さんめぐりに
お越し下さい。

実行委員長 依田さおり(本町)

(ヨメ印刷サービス(株))

「北国街道小諸宿のお人形さんめぐり」も今年で13回目を迎えます。東京小諸会会員の皆様の中には、既に何度もお越し下さった方もあるかと思いますが、どんなイベントなのか、少しご紹介したいと思います。

期日は平成29年2月18日(土)〜3月5日(日)。本町通り・ほんまち町屋館・本陣主屋・与良館をメイン会場に、相生町・大手・市町・与良の商店や個人宅約100軒ほどにお雛さまやつるし飾りが飾られ、城下町の風情残る町並みがお雛さままで彩られます。特にほんまち町屋館では、30本にのぼる色鮮やかな手作りのつるし飾りと、享保雛をはじめとした小諸の歴史を感じさせる江戸時代からのお雛さまも数多く展示されます。また、期間中、協賛イベントやつるし飾りの体験教室、高齢者クラブ主催のわら馬パレードも行われます。本年度もわら馬作り教室を開催する予定です。

厳寒の2月に小諸に賑わいを取り戻すべく女性を中心に頑張っています。是非一度故郷のイベントに足をお運び下さい。温かなおもてなしの心で皆様のお越しを心よりお待ちしております。

▼問合せ先 ほんまち町屋館

電話 0267-2512770

URL <http://www.machiyakan.com>

随感

近頃、気になること

東京小諸会理事 堀 英毅（与良）



1. 何かへんだなあ

世界に名だたる長寿国日本は今まさに、少子高齢化が進み、その人口構造は我々の社会環境を根底から変えてしまおうとしています。

図表化すると、1970年代（約45年前）は男女共に年齢が高齢になるに従い人口数が少なくなり見た目にもきれいなピラミッド型をしていました。しかし、2050年（約35年後）にはこの型が逆転してしまい、高齢社会の様相を示すと言われています。

具体的には、高齢者（65歳以上）を一人支えるには20〜64歳の人は、1930年代は約9人だったが、2050年には1・2人で支えるようになるそうです。

現在の日本の社会保障制度は、現役世代が高齢者を支えるしくみになっていますが、このまま現在の社会システムを継続していくことは、とてもではないが難しくなると憂えざるを得ません。現実かなりのスピードで超高齢社会が進んでいる一方、出生率が伸びないといった少子化時代突入していることは、周知のことと存じます。

国は「税と社会保障の一体改革」と称し、政策を打ち出しましたが、その財源となる消費税増税を再延期することを表明し、宙

に浮いてしまいました。

医療と年金、雇用問題、子育て、格差の是正等々諸問題にメスを入れるために約束された筈です。しかし、可笑しなことに財源のめども立たないのに、社会保障の充実策と言ってよいのか、各党とも選挙公約に充実策を掲げその場しのぎで調子の良いことを言っていました。選挙の終わった後どうするのか、財源を伴ったどんな実行策を打ち出すのか、じっくり見届けたいところです。

それどころか、高齢者の医療費の負担増、介護保険の引き上げ、要介護者の低い所得の方へのサービス等がかさみ、一方では給付減が行われています。

そんなやり方に、政治や社会保障政策に対する国民の思いは不信や将来への不安を高め、経済の好循環等夢のまた夢、挙句の果て消費を冷やし、逆に経済低迷の一因に繋がっていくのではないかと危惧するところです。

消費税増税は、将来の世代のためにも引き上げていくべきだと思っています。増税は生活に直接的に負担を掛けますが、今後社会保障費の国民の負担増の流れは加速するでしょう。ただ負担の歪は調整する。例えば経済的に余裕のある人には、高齢者と

いえども負担増を求め、給付を削減することを求めていく等の策を施し、更に国民負担率を検討すべきだと思います。

国民負担率とは、所得に対する税及び社会保険料（年金、健康保険、失業保険等々）の比率の事で数字が高いほど国民が税や保険料を支払っている事になります。負担率が低いほど幸せとは限りません。負担した分の内、国民サービスへの還元率が高いほど手厚い福祉を受け、多額の税金を払っても、それに見合うだけの生活を送る理屈になります。

因みに、スウェーデンと日本を比較すると国民負担率はスウェーデン65%日本41%、還元率はスウェーデン41%日本24%です。ヨーロッパ諸国は「高福祉、高負担」、日本は「低福祉、低負担」と言われています。つまり日本の将来は少子高齢社会が進み、高負担になることは確実です。高負担の痛みを覚悟してでも、低福祉でなく高福祉の社会を目指すべきだと思います。

それには、国はこの現状をきちんと説明し、ぶれない社会保障の全体像を、将来を見据えた未来図を早急に示して欲しいと願うものです。

2. いいことやってる国だなあ

●少子化対策に成功した国

フランス（人口6600万人）は、30年前の人口に比べて約1000万人が増えたそうです。出生率は女性一人当たり生む子

供は2人強です。

子供が出来ても仕事を失わない制度、育児・保育制度の充実、3人の子供がいる場合は子供が20歳になるまで手厚い家族手当が支給される等々「産めば産むほど有利なシステム」が数多く運用されています。

ここに至るまでには、一世紀にわたり少子化対策に取り組んできたフランスですが、日本もフランスの政策を研究していると聞きます。国民性、家族政策の違い等様々な服する問題があるとはいえ、将来を見据えた、国民が納得する策を期待したいものです。

只、国全体が負担という痛みを背負っていないかと、フランスのように中々うまくいかないでしょう。国民負担率の上昇を納得する覚悟を持ち、少子化対策に当たるべきと思いますが、如何なものでしょうか。因みに、フランスと日本の国民負担率の比較をすると次の通りです。

フランスの国民負担率60%（税35%・社会保険25%）、日本の国民負担率41%（税24%・社会保険17%）です。

●認知症が重症化しないケアに取り組む国
スウェーデン（人口960万人、国民負担率65%）は、認知症介護の先進国として世界中の注目を浴びていますが、1970年代に高齢社会を迎え、高齢者ケアの軸足を「医療中心」から「福祉中心」に転換し、認知症にかかる費用の内85%が福祉用ケアに振り向けられ医療は5%にとどめ病院数

は極限まで減らしたそうです。

その認知症ケアとは「オムソーリ」ケアと呼ばれ、まず介護される人の必要なケアは何かを良く観察し、本人が自分で出来ることは手伝わず、出来ないことを援助する。いわゆる「世話」ではなく「自立支援」する。

アンダーナースと呼ばれる基礎的な医療の勉強を修めた介護スタッフが中心となり、認知症チーム、在宅リハビリチーム、看取りチーム等専門性あるチームが編成されている。

医師の認知症の診断が終れば、「オムソーリ」ケアを担う人々に引き継がれ、介護される人のニーズや症状に合わせて対応するが、いわば生命力を引き出す自立支援のケアをする。その結果、認知症になっても多くの人が軽度にとどまり、自宅で過ごしており、ホームヘルプは一日15分。認知症高齢者の45%が一人暮らしを続けています。

日本も団塊世代が高齢を迎える2035年には、急激に認知症の発症率が高まることとが予想されます。スウェーデンに学ぶまでもなく国として十分に検討に値する課題だと思えます。このスウェーデンの認知症対策は、藤原瑠美さん（ホスピタリティ・プラネット代表）の講演を伺い、心に響く話として印しました。

●人生の終末期「よき死」をどう選ぶか
オランダ（人口1700万人、高齢化率

16%（参考：日本23%）の「安楽死法」は成立するまでには長い歴史があり、そのきっかけは1973年、ある医師が実の親を安楽死させた事件がきっかけで国民的な議論に発展したのが始まりだそうです。

その後、多々な複雑な事件の検討や議論を重ね、2002年に安楽死法(正式名称：要請による生命の終結及び自死の援助審査法)が成立し施行されました。

安楽死が認められるには、例えば本人の切なる要請があること、既に医療的な苦痛があること、他に合理的解決策が見つからないこと、セカンドオピニオン(独立した医師)の判断が必要等々、様々の要件が満たされ審査委員会等の様々のしくみがありますが、それらを通ったものが最終的に判断されることとなります。

オランダで法律が施行された2002年に1882人、2012年は4188人の方々が申請されています。

この他ベルギーでも合法化される等、いくつかの国々でも安楽死の理解が深まってきているようです。

要は、オランダでは個人の自己決定が尊重されていること、関わる関係者が納得出来るまで議論を尽くす、開かれた国民性があることが合法化に至った経緯のようです。日本も本人が正常な意思と判断力を持って、自らの考えで「よき死」を選び、周りにも納得してもらえ、そんな法律が出来ればと思います。人間の尊厳を保って死を迎え

ることは、即ち生命倫理に関する繊細で複雑な問題が絡み、ハードルは決して低くないと思います。議論が深まってほしいですね。

3. ともに明日へ

「人生100歳時代の設計図」と称し、健康寿命社会の実現に向けた取り組みを進める神奈川県。

県知事は、100歳まで輝き続けることが出来るライフプランを描けるような社会をつくっていくと、強い熱意のもと、今年キックオフシンポジウムを立ち上げました。

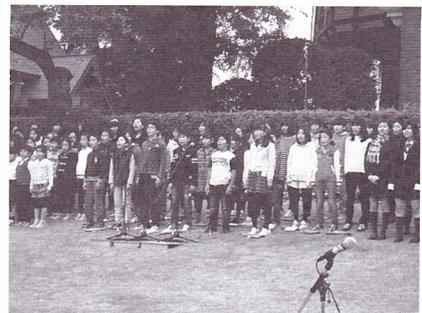
まさに超高齢社会への挑戦であり、その構想や様々の政策が折り込まれ、新たな持続可能な社会システムに変えていく取り組みです。

シンポジウムには大勢の県民が参加され熱気溢れるものでした。

県民の一人として、今後、実行段階の政策を楽しみにして、自分出来るものであれば参加する気持ちを強く持ちました。

各自自治体(県市町村)では、福祉策、町おこし策、人口減対策等々様々な施策に自発的な取り組みをされ、人々を引きつける努力をされていることをいろいろなメディアを通して目にします。わが故郷小諸も魅力ある住んでみたい町と人々に言われるよう皆で応援しましょう。

明治学院大学クリスマスツリー点灯式



平成27年参加の千曲小学校

小諸市にゆかりの深い島崎藤村が、明治学院の第一期卒業生であるというつながりから、小諸市と明治学院大学は、文化、産業、教育、学術等の分野で相互に協力し、相互の発展と人材の育成に寄与することを目的として、平成18年に「協働連携に関する基本協定」を締結しています。そして、そのご縁で、毎年11月下旬に港区白金にある明治学院大学白金キャンパスで行われるクリスマスツリー点灯式に、平成19年から小諸市の小学校生徒が招かれて順番に参加しております。

平成25年から2順目に入り、今年は東小学校の6年生全員(57名)が参加します。どうぞ、生徒さんを元気づけるため、応援に駆け付けて下さるようお願い申し上げます。

一、日時 平成28年11月25日(金)
16時30分

二、場所 明治学院大学白金キャンパス
(港白金台白金台1-2-37)

故郷小諸に埋もれる宝物

東京小諸会 柳田 智 (荒町)



十八歳で小諸を離れてから、46年が過ぎました。その間に、故郷小諸は随分と変わってしまつたように思います。

まず新幹線が開通し、そのおかりを受けて信越本線が廃止され、小諸は特急電車の停車する町から、第三セクターの『しなの鉄道』の一駅で、ローカル線の小海線との接続駅の町としての位置付けしなくなつてしまいました。また、長野道のインターが山の上の方でできたことにより、小諸の市街地へのアクセスは非常に不便になつてしまつたと、車での帰省の度に思っています。

小諸の街並みの歴史は、皆様もご存じかと思いますが、『小諸市誌』によれば、大井伊賀守光忠が築城した『鍋蓋城』の周辺近くに散在する集落の農民たちが、徐々に城下に集まり始め、裏町・横町・中町・市町・本町が形成されました。そして、天正十八年(一五八〇年)仙石秀久が小諸に初代小諸城主として入封し、城の大改修と城下町(穴城の形態からいえば城上町か)の大整備に着手し、いわゆる小諸三町の城下町・宿場町としての整備が行われました。仙石家が上田に移封になった後は、松平家・青山家・酒井家・西尾家・松平家と変

わり元禄十五年(一七〇二年)牧野康重が一万五千石で入封し、明治まで続きました。この間、北國街道の宿場町として、更に牧野氏の城下町として商工業の中心地として栄えたとされています。

明治になってからも、さらに信越線と小海線の起点の町として、商業の町として、『小諸商人』の名を高めていきました。その繁栄の証として、今も市街地には古くからの建物が残っています。観光案内にも掲載されている本陣問屋、脇本陣のほかに、与良町には、小山家(江戸中期・農家)、与良家(江戸初期・農家)、小山家(江戸初期・旧庄屋宅)、荒町には嶋田屋(江戸末期・元呉服商・下駄荒物)、酢久商店(江戸後期・味噌醤油)、本町には結城屋(江戸後期・商家)、大塚味噌醤油店(江戸後期・商家)、塩川五右衛門(江戸後期・庄屋問屋)、大塚本店(江戸後期・造り酒屋)山謙酒造(江戸末期・問屋場・造り酒屋)等の江戸時代の建物が残されています。そして山崎長兵衛商店(明治後期・小物・アクセサリ販売)、萬屋骨董店(旧小諸銀行・明治中期)、旧蘭問屋(大正初期・小林金吾商店)、油権(明治後期・竹内木材)、桑原邸(大正期)の町屋や、私たちが子供の頃には個人のお宅でしたが、保存修理の後公開されている

大手門と、懐古園の入り口の三の門等の多くの古い建物が残されています。

これらは、小諸の重要な観光資源となっており、小諸にとって重要な宝物でありますので、関係する方々や行政の担当の方々の有機的な維持管理を推し進めることを希望します。

小諸の古い町並みの他に、私が故郷小諸に思いを馳せているものは、小諸の町の各家々に埋もれている古文書のことです。

古文書は、その中味を紐解くことにより、その時代時代の人々の生活を推し量ることができると思います。この古文書を収集整理し、史料として活用することにより、小諸の商業の繁栄の歴史の解明に大いに役立ち、また、これからの小諸も見えてくるのではないかと思います。

我が実家にも、昭和六十三年に東京小諸会の高橋昭平相談役のご実家である高橋太郎氏のお宅より、同姓の集まりである「柳田会」に寄贈された古文書があります。これは、柳田宗家にあたる柳田藤助家に残されていた古文書です。それがお位牌等の物品と一緒に高橋家から寄贈されました。

この古文書を、郷土歴史家の故大塚清人先生と小諸市立郷土博物館長の斉藤洋一先生に監修整理をしていただき、平成五年『小諸荒町柳田家古文書目録』にまとめあげ、上梓することができました。丁度、仕事のリタイア時期にあつて時間がとれる私の父が発行責任者となり上梓に至りました。

この目録に収められている文書を俯瞰し、興味深い文書を拾い上げて紹介してみます。収録されている文書の期間は寛永六年(一六二九年)から明治二十二年(一八八九年)までの約二百六十年の間に、柳田藤助の家での商売、生活について残された文書です。それぞれ、支配・町・交通・商業・金融・宗教・家について整理されています。

1 支配

まず、小諸藩の行政・政治に関わりのあるものについてです。

- ・佐久郡与良町検地翠帳(寛永六年)
 - ・殿様入国百ヶ年に付き行事打合せ状(寛政十二年四月)
 - ・殿様入国百年祝賀のため糶二十五俵献上窺書(享和元年三月)
 - ・殿様入国百年祝賀式武運長久祈願窺書(享和元年三月)
 - ・元禄十五年に牧野康重が小諸に入封して百年経つたのを、領民が祝おうとした文書です。
 - ・儉約取締の簡条(文化十二年十月)
 - ・藤助安五郎苗字帯刀御免(文政二年十一月)
- 次に年貢関連についてですが
- ・荒町分年貢皆済目録(明和四年(一七六七年)から明治七年(一八七四年))
 - ・与良町分年貢皆済目録(寛政六年(一七九四年)から明治六年(一八七三年))
 - ・市町分年貢皆済目録

等が残されており、年貢の納付状況について残されています。

2 町

- ・信州佐久郡与良松井指出帳（元禄十五年十二月）
- ・五人組御条目御仕置帳（明和八年）
- ・出火届（寛政五年十二月）
- ・小諸興業に付返答状（文化九年九月）
- ・雷電相撲宿割借物扣帳（文化九年九月）
- ・雷電為右エ門から、小諸での相撲興業についての返事やお相撲さんの宿割について書かれています。

3 交通

- 交通関連については、中山道が小諸藩領を通っていることから
- ・和宮通興休泊附控
- ・和宮下向芦田宿御用諸事扣
- ・和宮通興芦田御休宿割贈献立扣
- ・和宮下向に付領分名主中より代官宛願書写（文久元年）
- 等、皇女和宮の江戸下向に関する文書や
- ・寿明姫君下向八幡宿御弁献立（徳川家定の2番目の正室（天璋院篤姫の前）一条秀子姫（澄心院寿明君）（嘉永二年）が見受けられます。

4 商業

- 商業として分類されている文書には
- ・今后共出荷継続憑い書（享保十一年）
- これは松井田の商人から送られてきた文

書で商圏の範囲がうかがわれます。

- ・米・穀物相場の通知書及び通知依頼状
- ・松井田や江戸の商人からの連絡、各地の相場の情報を集め米や穀物の諸売をしてい
- たようです。
- ・石畔村与八奉公請証文（宝暦十一年）
- ・寅年店落帳（天明二年）
- 今でいう棚卸帳のようです。
- ・江戸出府路用金借用依頼状
- ・松井田米代金取寄せ依頼状

5 金融

目録の中で最も多い文書が金融関連の文書です。無尽関連と合わせると五一〇通以上の金子借用証文・返却状・田畑質入証文・無尽掛金借用証文が残されています。

6 家

- ・過去帳（正保四年から明治十九年）
- ・小諸藩士の縁組を頼まれた時の覚書（文化元年）
- ・殿様家督錫（スルメ）五把献上願書（文政2年）
- ・藤助改名伝左エ門改名祝儀控（文政十年）
- ・京都奈良大阪道中諸控（万延元年）

6 その他

- 真贋のほどはわかりませんが、藤助の家とは関係ないが、興味のある文書があります。その中で目についた文書を挙げてみます。
- ・十二月十三日打入直前に書いた書状（大

石内蔵介良雄）

- ・大塩平八郎騒動乃顛末略紀
- ・相州隆広刀劍鑑定書（本阿弥忠美）
- ・武州国正刀劍鑑定書（本阿弥忠美）
- ・和州政長刀劍鑑定書（本阿弥忠美）
- ・信濃国佐久郡海尻古城の図
- ・薬法秘伝書

この分類の中には、ほかに「家譜」があります。この「家譜」こそ、長年我が家は



つ頃からこの小諸に住むようになったのか、そして祖先はどのような人たちで、どのような生活をしてきたのか、よく従兄弟たちと話していました。この「家譜」も、大塚・齊藤両先生のご指導を受け『小諸荒町柳田家家譜』として上梓されました。ここには、先祖が三九〇年前に小諸に移り住んで現在に至るまでの事項が記されており、自分たちのルーツを知る上に大いに参考になりました。

手前みそのようになってしまいましたが、これらの残された古文書から、先祖の方々がどのような生活をしていたかが想像でき、さらに興味をもって調べていけば昔を知る良い資料となると思います。ただ、この古文書は公開されることなく、現在荒町和号会の古書蔵に保存され、簡単には閲覧できません。もっと身近なところでの閲覧ができればとは常々感じています。

さらに、『市立郷土博物館』今、休館中ですが）が中心となって、小諸の街々に埋もれている古文書を調査収集し、整理されていることを聞き及んでおります。また、「いはら塾」「ほへと塾」という市民向けの古文書学習講座も開催されていると聞きました。私もそろそろリタイアの時期が近くなりましたので、その機会さえいただければ、その活動に可能な限り参加させていただきたいと思っています。

皆さま、ご実家へお帰りの際は、ご実家に埋もれている古文書を探してみてください。

中山道歩きの記事

その3

市川孝美 (御影)



第三回目 中津川宿〜京都・三条大橋、

二二七km

二〇〇九年四月一日〜十八日

いよいよ中山道歩きの最終章。

前回と同様に全く土地勘の無い地域を歩くことになる。

また前半の美濃路は峠道が多い上に宿泊できる宿場が限定される為、是にあわせて一日の行程を計画したので、七日目を除き比較的余裕を持った計画となった。

四月一日 (土) 中津川宿〜大井宿

一〇・五km

いよいよ完歩を目指して旅へスタート!

二〜三日前に桜も散って春先にしては快晴の暑い日となる。

新幹線で名古屋経由・中津川宿へ向かう中、多治見付近ではまだ桜が満開! この旅も桜を楽しみながら歩けるのかなとワクワク気分で大津川駅に着く。半年前が懐かしい。

町中を三〇分くらい散策して食事処を探すも、適当な店が見当たらず止む無く前回と同じうどん屋に入る。暑いのでビールを飲みたかったが置いて無いので、冷たいきしめん「きしころ」を味わう。

中津川・歴史資料館に入ったが中津川や中山道の歴史資料は少なく、島崎藤村の

「夜明け前」をテーマに明治維新前後の資料広重の街道錦絵を多数展示した狭い資料館で、ちよっぴり期待外れ。館名と合っていない様に思う。

予定より早い一二時四〇分、中津川宿の樹形をスタート。

桜は満開の木や散り始めた木など十分に楽しめる状態。

甚平坂の急坂を登り切り休憩中に猿の鳴き声を聞く。歩きの途中で出てこない事を願うばかり。

大井宿の宿泊所・割烹旅館いち川には一五時四五分に着く。

創業三六〇年と聞いており期待していたが、建物は昭和になってから建て替えたものか? 古さは何処にもかんじられない旅館であった。割烹旅館とされているものの夕食に出た料理は意外に質素な印象。只、「のれそれ」は始めて食べた魚。

明日は峠の多い道のりなので早めに就寝する。

四月二日 (日) 大井宿〜細久手宿

二五km

八時三五分旅館を出発。今日は大変な迷

い道をし、計画では二〇kmの道程であったが結局二五kmを歩くこととなった。

大井宿の町を出て国道に合流し再び旧道に入ろうとしたが、このポイントが早過ぎたらしく大変な迷い道となる。

旧道には「中山道」の表示がいたる所にあって分かり易いのだが、一旦国道に出ると再び旧道に入る所に表示が無く、非常に分かり難い。これは過去二回の歩きでも経験しているの、慎重に目印を調べたつもりもやはり分かり辛い。

地元の人に道を聞くと、宿場内の人には中山道に愛着もあり知っている人が多いが、郊外に住む人は案外と知らない人が多いのに驚いた。

この迷い道では四回道を訊ねた。道端のおばちゃん二人……国道一九号を

教えてくれるので旧道を探しているののでと断り、武並への道を教えて貰う。

① 祭りのイベント会場の人……やや詳しい人が出て来てくれ旧道への出方を教わるが大きく回り道をした事に気付く。

② 分岐点で歩いて来た老人四人……どちらの道が良いか聞く

大湫へ行くには此方の道が山仲・富士經由で大凡四時間くらいで、分かり易いよと教わる。何だか不安……?

③ 峠の頂上でT字路となり左右どちらへ進むのかで迷い、庭先にいた男性(自治会長)に聞く……目標物から大凡の距離道の教え方が実に適切。流石に自治会長

さん!

漸く中山道に入り安心したが、実に一時間のロスタイム、五kmの回り道をしたことになる。目標物の首なし地藏を見つけ十三峠に入る。ここまで来て、事前の道調べで十三峠は一つの峠の名称と勘違いしていたことに気付く。

美濃路の大井宿〜鵜沼宿間にある十三の峠を総称して云う。更に「十三峠におまけが七つ」と唄われ四〇〇〜五〇〇m小さな峠をいれると実に二〇以上の峠がある。

十三時一〇分、大湫宿に到着する。宿泊する細久手の大黒屋に予約した際、大井から来るならば途中で食事処が無いので弁当を用意して歩いて下さいと云われていた。然しながら大湫宿に着いてみると婦人会の



琵琶峠は当時の石畳のまま



創業は240年前
江戸時代の建物で今も営業している大黒屋

様なグループが、簡易休憩所を設置して五平餅を売っていたので早速休む。ビールと五平餅の変な組合わせ。

この大湫宿・神明神社にあった大杉は自分が見てきた中で最古・最大の生物。樹齢千三百年、高さ六〇m、幹まわり一〇m、直径三、二m。実に大きい！

大湫宿を出て巨石が敷き詰められた石畳の琵琶峠を越え、宿泊所のある細久手には一五時四〇分到着。

大井宿から伏見宿四五kmの中で唯一の宿泊所で、この宿の予約が今回の旅の計画を立てるポイントとなった。

宿は創業二四〇年の大黒屋。

宿場内で唯一江戸時代からの建物として残っているもので、若い夫婦がこれを維持

しようとして頑張っていた。予約時に外人団体があるので日程をズラしたらどうですかと勧められたが、計画通りをお願いする。

四月一三日(月) 細久手宿→太田宿

二六km

早朝五時前から、うるさい位の鶯の声で目覚めさせられる。

外人は十数名の団体で、宿にはトイレが一つなので争奪戦を制する為に予定より一時間早い七時の食事、八時の出立とする。

この日は八割以上が旧道で迷い道も無く順調に進むが、細久手宿→御嶽宿→伏見宿までは常に登り下りの峠道が続く。

途中に耳神社と云う珍しい神社が岩の上であり、耳に奇病のある自分としては早速お参りする。峠道は逆方向で歩くには相当にキツイだろうとおもわれる「乱れ坂」「牛の鼻欠け坂」と云った。如何にもっ！と思われる名称が付いていた。

御嶽宿の手前で同年輩か少し若いのか？足の不自由な人が歩いていて、声を掛けると御嶽宿までとのこと、短い距離なので大丈夫とは思いますが、頑張っているなとの印象。

御嶽宿で昼食をと食事処を探したが、唯一あったお好焼屋は定休日。国道に出るのでもコンビニでお握りでも買おうとしたところ、国道の交差点に喫茶店を見つけ助かった。

伏見宿は嘗て長崎屋の日本ライン可児店があった所。休憩時にここで店長をやって

いた秋元さんに電話してみる。

太田宿まではほぼ国道を進むことになり、例によって歩道環境はかなり悪く歩くのに怖さを感じた。

太田宿へは今度の渡しを渡っていたが、今は一kmの長い橋を渡る。渡し場公園には「中山道に木曾のかけはし、今渡のわたし、碓氷峠が無くばよい」と彫られた記念碑があり中山道の三大難所とされていた。

木曾川の水量も多く流れも速いので、昔の河渡りは相当に大変であったことが想像される。太田宿に宿泊できる施設は二つしか無く、その一つ「旅館・竹本」には一六時に着く。

月曜日で客は自分一人、八二歳のお婆ちゃん一人が切り盛りをしていた。足が悪そうだったので布団の上げ下げは自分でやってやると、夕食にサービスの一品が付く。

四月一四日(火) 太田宿→加納宿→岐阜

二七km

一〇〇%の雨予報。降りだす前の八時に宿を出る。出発の際に宿のおばあちゃんが、雨が降るのでこれを持って行って下さいとブランド品のタオルを渡してくれる。有り難い！

木曾川沿いの道を三kmほど進んだところで雨が降りだす。

カップで完全装備をして歩いていると十時過ぎより激しい雨で進めず、しばし雨宿りをする。第一回目の反省で靴を濡らさな

い様にシューズカバーを付けて歩くが、足が暑くなり一時間位で脱ぐことになる。国道は大型トラックの水しぶきが容赦なく飛んできて傘は横にさして歩いた。

漸く国道から逸れ峠道に入ると全く人気無し、暗くやや薄気味の悪い道を進む。昨日はしっかりと案内道標があった道も、鶴沼宿に入ると手前で住宅開発の為に、旧道と思える道が消えてしまい数回の迷い道。各務原市に入り予定より手前であったが風情の良い蕎麦屋見つけて入る。歩いている事を聞かれるままに説明すると、何も出来ないかと店を出る時ペットボトルに温かいお茶を入れてくれる。冷たい雨降りなので有り難かった。

平坦な道なので歩行速度を早め、岐阜駅には一六時一五分に着くことが出来た。早速ホテルに入り送っておいた荷物を受取り、着替えを入れ替える。濡れた靴、カップ、リュックをドライヤーで乾かす。

ホテル近くの居酒屋「山車」に入り思い出に残る出会い。

馴染みの先客二人、話が面白いので相槌を打っていると帽子の完歩・中山道を見て色々聞かれ話が太いに盛り上がる。一人は中日のドラフト一期生・測上?とのこと。

もう一人はアパレル関連・付属屋の経験者自分が嘗て取引をしたシンガポール、ヒロタ、サンラリー等懐かしい名前が出る。居酒屋のママさんは飲み代を安くしてバナナのお土産付き。

四月十五日(水) 岐阜〜関ヶ原宿

三二、五km

快晴ながら西風が強そうなかを八時にホテルを出る。

岐阜市内の旧道は誠に分り辛く、やはり大きく回り道をしてしまう。結果的に長良川の河渡宿には出たが歩いて来た道の検証は難しい。この頃より一〇mを超える強烈な西風となり、その中を西に西に向かって歩くことになる。

この日は長良川、損斐川、大谷川、相川に架かる大きな橋を四回も渡ることになり、橋の上では更に強烈な向い風となったが橋が大きい分、歩道が確保されていて助かる。赤坂宿で昼食予定も宿場内に食事処が無く、側にいた人に聞くと宿場入口まで戻っ



数少ない昔のままに保存されている一里塚

て国道に出ればあると云う。止む無く戻って寿司屋に入り、ビールとちらし寿司で一休み。

赤坂宿と垂井宿の間に「中山道・青墓宿」の大きな道標。

六十九次の宿場にはないので仮宿か？

関ヶ原宿の手前・野上の松並木を過ぎた所で国道を挟んで小高い丘の上に徳川家康最初の陣地跡の幟が見え、写真を撮ろうとして構えるもアングルが悪かった。それを見て、庭先で車を洗っていた人が、自分の家の庭に上がれば良く見えるのでどうぞ入って下さいと親切に対応してくれた。

宿泊所の関ヶ原には予定通りの十六時四五分に着く。本日の宿泊は永長元年創業で九〇〇年の歴史を持つ「榎屋」。何と平安時代の創業とは！歴史を感じる。気さくな女将さんが色々話をしてくれる。同宿者は横浜から来て滞在している女性五人なので、少々うるさいかも知れませんが、風呂や食事も此方を優先して整えてくれた。確かに賑やかなグループであった。

夕食は豚肉を中心とした一人でする鍋、これは初体験。

ポリウム満点で味も良く酒が進んだ。

四月一六日(木) 関ヶ原宿〜高宮宿

二九・五km

こう云う宿の欠点は細久手宿の大黒屋もそうであったが、トイレが少ない。榎屋も

同じで、同宿者の女性グループと重ならない様に朝食を早めて、七時五五分に宿を出る。次の今須宿を過ぎると美濃の国から近江の国へ入る。

この県境に寝物語の里があるが、この名称の所以が面白い。国境は五〇cm程の小川であり、この川を挟んで両側にあった宿で旅人同士がそれぞれの国の話しを、寝物語に語れる程であったところから付いた名称だと云う。

予定より早めのスタートと道が分かり易く平坦であったが、柏原塾には一時間弱早く着いた。この宿場は、奈良井宿と甲乙つけ難い良さを残した宿場町。宿場町の伝統と誇りを感じさせ、町中はキレイに清掃され会う人は気軽に明るく声を掛けてくる。歴史資料館と伊吹もぐさ店で時間を取る。

次の醒ヶ井宿は事前調査でそれ程の宿と思わなかったが、名水とその湧水量、更に景観の保持具合も云うこと無し。ここでは昨日同宿の女性五人組に会う。関ヶ原から電車であって、これから又電車で彦根へ行って横濱へ帰るといふ。

次の番場宿で昼食を取ろうと思っただら又しても食事処なし。仕方なく唯一あった雑貨店でパンを買い、神社の境内で食事休憩をとる。逆方向から五〇人位の団体で歩くグループと出会う、一日一〇〜一五kmをあるくのだと云う。

今日はホテルに着いたら彦根城へ行ってみようかなと急に思い付き、早めに出立し

て歩行速度を速める。

榎針峠を越え鳥居本宿に入ると、街道に面した家々が何か今までと違う様に思われた。逆方向から歩いて来た、西国三十三カ所礼所巡りの男性に会い三分位の立話をする。自分より十歳位は若いのか？鳥居本宿から高宮宿まではほぼ町並みが途切れずに続く。高宮宿に入って間もなく自転車で通り過ぎた男性が引き返して来て、どこまで歩くのか？一人でか？等々、饒舌に話し掛けて来る。五分位歩きながらの世間話し。ホテルへは一六時に着く。

【番外編・彦根城散策】

早速タクシーを呼び彦根城に向う。中堀りの周辺が四kmという巨大な城郭が当時のまま残された城。残念ながら天守閣までは時間が無く大名庭園・玄宮園から仰ぎ見る桜は散ったばかりで、石垣が花びらでピンクに縁取られていた。

厩前には遅咲きの枝垂れ桜が満開で、嬉しい気分になる。明日は今回の旅で一番の長丁場。七日目の旅でもあり念の為、ホテル近くにあったイオンSCでパンティンを買って求め足に塗り込め早めの就眠。

四月一七日(金) 高宮宿〜草津宿 四〇km

七時四五分にホテルを出る。この高宮宿は昨日とは大きな違いがあり、無愛想な人が多い様で声掛けし難い雰囲気。



中山道・終着点の草津の道標
ここから京都までは東海道に入る

車のマナーが悪く、狭い宿場の道を飛ばして行く。通勤・通学の時間帯のせいもあるのか。

途中、伊藤忠商事を創業した伊藤忠兵衛の生家を観る。

愛知川宿の手前でポツリと来て冷っとしたが、宿場の飾り門の脇で庭を眺めていた男性から声を掛けられ、午後からの天気予報は良いので頑張つてと励まされる。十一時頃から晴れだしたが今度はその暑さにうんざりとなる。

愛知川に架かる長い橋を渡ると近江・天秤商人の里「五箇荘」に入る。かつて会社で「天秤の詩」ビデオを使い社員教育をしたことが懐かしく思い出される。

石寺楽市という地元物産販売施設(道の駅的なもの)があり、立寄って休憩を取るところに案内図が出ており、織田信長が安土城を築いたと云う小高い山が直ぐ近くに見える。

武佐宿の入口・老蘇の森付近で若い学生らしい歩きの男性に会う。大阪から来て名古屋まで行くと云うが、東海道では無いので彦根から伊勢街道を行くのであろうか? 昼食を武佐宿で取ろうとしたが、ここにも食事処が無く、又々雑貨店に入ってパンとバナナを買い求め、神社の境内を借りて昼食。このスタイルにも慣れて来たかな……?

武佐宿守山宿は一四kmあるが一〇kmほどは国道を進む。旧道に入ってホッとした時は既に午後四時を回っており、強烈な西日の中を西に向かって歩く。

一八時、とうとう中山道の終着点・草津宿に入る。アーバンホテルが分らず、ホテルに着いたのは一八時一五分。流石に今日の四〇kmの道のりは長かった。まだ明日の京都・三条大橋までの旅は残っているが、ゆっくり飲みたいとホテル近くの居酒屋に入る。店は二〇人ほどが座れる大きなカウンターを備えた店で、奥さんと二人で賄っている。

ちよつぷり高そう(?)な店……。肴は中々旨く酒も良し、しかも一時間半ほどの間客は自分ひとり、貸切りで飲む。

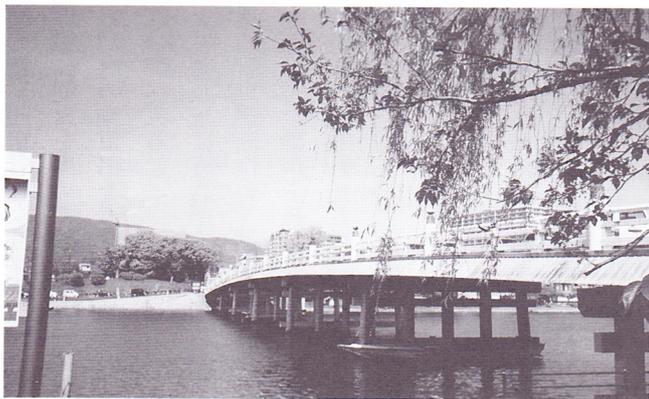
四月一八日(土) 草津宿→京都・三条大橋

二七km

草津宿からは東海道を天津経由で京都・三条大橋を目指す。

ホテルを七時五五分に出発。天気はちよつと辛くなる程の晴天。いよいよ旅の完結に向けて最終日。中山道に比べて東海道はメイン街道であった為か、その町並み・開け具合等に微妙な違いを感じる。

先ず目指すは「瀬田の唐橋」であったが、手前三km地点で国道に合流し分岐点で例によって又もや迷い道。旧道を拡張したのか? 旧道らしからぬ道に戸惑う。家の石垣を修復工事していた二人の職人さんに声を掛けられる。東京から歩いて来たことを



瀬田の唐橋
直線の橋が下から見ると湾曲して見える



ゴールの京都三条大橋

説明すると、若い方が人が飛び上がる様な驚き方。こちらの方が驚く! 年輩の方は以前もその様な人に会った事があるらしく、どの道で来たのか? 何日くらい掛かるのか? 足は大丈夫なの? と色々聞かれ励まされた。

唐橋の一・五km手前では車椅子に乗った老婆とそれを押す夫の二人に出会う。比較的整備の行き届いた歩道であったが、常に傾斜や凹凸を避けて丁寧な歩道でいるのを見て、追越しをせずに後ろからついて行くのと先方から話し掛けて来た。東京から京都までの歩きを説明すると、やや言葉の不由な老婆が一生懸命に話し掛けて来るのに感動した。

瀬田の唐橋は不思議！ 直線の橋なのに河原に降りて脇から見ると湾曲して見える。どちらから見ても同じ様な湾曲！

膳所では又々迷い道をしてしまい大きくタイムロス。更に大津宿から旧三条通りに入るポイントを間違える……。

逢坂の峠頂上で自転車長旅をしている男性に色々道と道を教わる。逢坂の峠を下り出した所に日本一の看板を掲げた鰻屋に入り昼食。店は大きかったが日本一????? 自分にとって音羽の鰻の方が遙かに旨い！ 山科に着いて残り6km足らず、嬉しさが込み上げてくる。

予定より二〇分早い一四時四〇分三条大橋到着！

弘子の出迎えを受け弥次・喜多像の前で記念写真を一枚。

宿は三条大橋の袂にある「いろは旅館」早速風呂で汗を流し、夕食は圭介が予約してくれた「たま奴」へ行く。

和風フレンチの粋な店で、ビール・ワイン・日本酒と心行くまで飲み、改めて達成感に浸る。

(次号につづく)



第13回 北国街道小諸宿の

お人形さんめぐり

平成29年 2月18日(土)
~3月5日(日)

本町通り・ほんまち町屋館・小諸本陣主屋・相生町・大手・市町・荒町・与良町

冬の小諸を味わう!!
見て、食べて、歩いて……
癒しの時をお楽しみ下さい。

期間中の各種イベント予定のご紹介

- * 体験教室 **要予約**
- * わら馬作り教室
- * お人形さん感謝のつどい
- * お人形さんめぐりガイドツアー
- * わら馬パレード (小雨小雪決行)

ほんまち町屋館ホームページ

<http://www.machiyakan.com/>
TEL・FAX 0267-25-2770

東京小諸会役員

顧問

理事

会長

副会長

常務理事

小泉俊博 相原久男 掛川興太郎 花岡喜昭 山岸喜昭 渡辺静雄 田沢雄二 白鳥ひさじ 北村尚巳 岩崎忠平 小田山武久 須田紀子 柳澤紀子 小宮盛龍

稲垣信克 木村美紀子 下村俊郎 白鳥英毅 堀林裕子 小堀井石 (新任) 松井根 (新任) 掛川国雄 鈴木裕子 小橋洋之介 高橋昭平 荻原礼子 (新任) 相談役

平成27年度決算報告書

自 平成27年9月1日
至 平成28年8月31日

(単位 円)

支出の部	
科目	金額
総会関係費	871,077
通信費・事務用品	71,932
印刷費	216,000
会費・会議費	173,506
雑費	23,288
次年繰越額	383,483
合計	1,739,286

収入の部	
科目	金額
前年度繰越金	318,225
会費収入	607,000
広告収入	520,000
祝儀	294,000
雑収入	61
合計	1,739,286

右記の通り平成27年度決算を報告します。
平成28年8月31日

理事(会計) 小林 裕

以上の報告を監査したところ正確であると認めます。

監事

掛川国雄
鈴木裕子

旅の小窓(2)

モロッコで経験した豪雪の話

東京小諸会副会長

田沢雄二郎(荒町)



昨年2月モロッコを旅した。

モロッコはアフリカ大陸北西部に位置し人口約3200万人で、多くの世界遺産がある。観光地としては、映画でもおなじみのアフリカ最大級の都市カサブランカ、政治の中心地でもある首都ラバト、メルヘンの世界といわれている青壁のシャウエン、城壁に囲まれた町カスバ(要塞)、広場の喧騒と迷路のような細く長い路地やスークで有名なマラケシュ、そして広大なサハラ砂漠など旅人の心を引付ける多くの場所があります。毎年日本からこの地を旅行する観光客は多く、会員の皆様の中にもこの地を旅行された方が多くいるのではないかと思います。観光地そのものの紹介は別途機会があれば



カスバの全景 (世界遺産・アイト・ベン・ハッドウ)

ば紹介したいと思いますが、私が今回経験した表題は、モロッコの西側の町・イフレンから東側のサハラ砂漠に行く途中のアトラス山脈を越える高所での、豪雪によりバスが立ち往生し、大渋滞に巻き込まれたため、前にも後ろにも動けずひたすら時の進むのを待つだけだった話です。考えてみると、アフリカとはいえ、標高3000mから4000m級の山が連なるアトラス山脈の山間を通過するために道路の最高地点は2000mを超えるルートもあります。そのため、季節によってはアトラス山脈を越えるときに降雪に遭遇して当たり前なのかもしれません、なぜかアフリカという地名の印象から雪という観念が全くなかった私は、信州を離れてからこの数十年経験したことのないような豪雪に見舞われ、しばしの間、昔小学生の時に小諸市内の雪が積もった急な坂道で竹スキーを楽しんだことを思い出し、懐かしさがこみあげてきました。豪雪中での渋滞も4時間程度待つことによりバスは動き出し、だいぶ遅れて昼食会場にたどり着きました。

多くの思い出のあるモロッコの旅で田舎を思い出させてくれた忘れられない一つの光景が今も脳裏にはつきりと覚えております。

完

動き出した城下町の観光まちづくり

萩原礼子

(まちづくりプランナー/NPOこもろの杜、NPO町並み研究会、城下町にぎわい協議会、東京小諸会相談役)

小諸城下町の観光まちづくりについて、私のかかわっている大手門周辺整備と北国街道の歴史的建物の活用についての仕事を紹介いたします。

まず大手門周辺整備ですが、これまで民間の方が運営されていた大手門駐車場(大手門脇)を市が取得し、整備のプランづくりをお手伝いしました。これは、観光関係者や周辺住民の方のご意見も伺い、小諸城址の遺構をイメージさせる石垣に囲まれた、大型バスも入れる駐車場として再整備することが決まりました。またこれに伴い、小諸市と旅館中のくらしかる浪漫館についての協議(壊すか活かすか)、向いの旧薩問屋の周辺の修景イメージづくりも進めています。

北国街道沿いについては、9月17日から22日の6日間、城下町にぎわい協議会の主催で「第5回城下町フェスタ」を開催しました。日常あまり使われていない商家の店

や蔵をお借りして、地元の作家によるアート&クラフトのギャラリーや食文化体験などの実験店舗が並びました。

雨が続き、来場者の数は例年の半分以下でしたが、活用した人とお客様がゆっくりとふれあう時間が長く、また「この建物を借りたい」と2軒のお問い合わせもありました。

建物所有者が高齢化するなか、誰かに商売をしてもらわないと、まちは減んでしまいます。その時期がきているなど痛感するフェスタとなりました。

東京小諸会でも、どうぞ小諸城下町の歴史的建物の保存活用にお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

「信州小諸・城下町フェスタ」ホームページ
machifes.wixsite.com/komoro

今年の「きらら会」演奏会の紹介

東京小諸会理事
きらら会代表

下村俊子(赤坂)

出演者

ソプラノ独唱 竹内直美

チェロ独奏 松谷明日香

伴奏 今井麻耶

演奏曲目

チェロ独奏 松谷明日香

伴奏 今井麻耶

曲目 ショパン作曲 「雨だれ」

フアリヤ作曲 「火祭りの踊り」

ソプラノ独唱 竹内直美

伴奏 今井麻耶

曲目 おかあさん 作詞 江間章子

作曲 中田喜直

くちなし 作詞 高野喜久雄

作曲 高田三郎

椰子の実 作詞 島崎藤村

作曲 大中寅二

プロフィール

竹内直美(たけうち なおみ)【ソプラノ】

小諸高校音楽科卒業、東京芸術大学音楽部声楽科卒業、日本声楽家協会修了、

声楽アカデミー会員、現在ソリストとしてオペラに出演、音楽専門学校ボイストレーナ、ヤマハ講師、他フリーで演奏会に出演活躍中。

松谷明日香(まつや あすか)【チェロ】

小諸高校音楽科卒業、国立音楽大学音楽学部器楽学科チェロ専攻卒業

大学卒業演奏会出演、第10回日本アンサンブルコンクール弦楽ピアノデュオ部門入選、東京ニューシテイ管弦楽団チェロ奏者

今井麻耶(いまい まや)【ピアノ】

小諸高校音楽科卒業、武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、日本大学芸術学部博士課程修了、第10回日本アンサンブルコンクール弦楽ピアノデュオ部門入選、現在フリーで演奏活動を行っている。

故郷(ふるさと)

高野辰之 作詞
岡野貞一 作曲

一、 兎追ひし彼の山

小鮒釣りし彼の川

夢は今も巡りて

忘れ難き故郷

二、 如何にいます父母

恙無しや友がき

雨に風につけても

思ひ出づる故郷

三、 志を果たして

いつの日にか歸らむ

山は青き故郷

水は清き故郷



信濃の国

浅井 洌 作詞
北村 季 春 作曲

一、 信濃の国は十州に 境連ぬる国にして

聳ゆる山はいや高く 流るる川はいや遠し

松本伊那佐久善光寺 四つの平は肥沃の地

海こそなけれ物さわに 万ず足らわぬ事ぞなき

二、 四方に聳ゆる山々は 御嶽乗鞍駒ヶ岳

浅間は殊に活火山 いずれも国の鎮めなり

流れ淀まずゆく水は 北に犀川千曲川

南に木曾川天竜川 これまた国の固めなり

三、 木曾の谷には真木茂り 諏訪の湖には魚多し

民のかせぎも豊かにて 五穀の実らぬ里やある

しかのみならず桑とりて 蚕飼いの業の打ちひらけ

細きよすがも軽からぬ 国の命を繋ぐなり

四、 尋ねまほしき園原や 旅のやどりの寝覚の床

木曾の棧かけし世も 心してゆけ久米路橋

くる人多き筑摩の湯 月の名にたつ娘捨山

しるき名所と風雅士が 詩歌に詠てぞ伝えたる

五、 旭將軍義仲も 仁科の五郎信盛も

春台太宰先生も 象山佐久間先生も

皆此国の人にして 文武の誉たぐいなく

山と聳えて世に仰ぎ 川と流れて名は尽す

六、 吾妻はやとし日本武嘆き給いし碓氷山

穿つ隧道二十六 夢にもこゆる汽車の道

みち一筋に学びなば 昔の人にや劣るべき

古来山河の秀でたる 国は偉人のある習い

小諸の魅力を発信！

ふるさと応援寄附金事業を大幅グレードアップ

小諸市役所総務部企画課

平成28年9月15日に小諸市のふるさと応援寄附金事業（以下、ふるさと納税）をグレードアップいたしました。これにより返礼品の内容、種類とも充実を図り、これまで行っていなかったインターネットのポータルサイトへの掲載も開始しました。

ふるさと納税の返礼品は、返礼品を通じて小諸の魅力を発信していくという目的のため、小諸をPR出来る品物を中心に選定してまいりました。今後は「既にある魅力」だけでなく、今後創出していく「小諸ブランド」を日本全国に発信していきたいと考えております。

皆様におかれましても、是非、小諸市の名産・特産品を手にしていただき、ふるさと小諸を思い出していただきますのと同時に「小諸愛」をあらたにしていただければと考えております。

また、お届け先を指定していただくことで、返礼品をお歳暮などの贈り物としてご利用していただくこともできますので、小諸市の名産・特産品をご友人等に味わっていただき、「小諸の魅力発信」にご尽力いただきますようお願いいたします。

続きまして、ふるさと納税の仕組みについて、若干のご説明をさせていただきます。

「ふるさと納税」と一般的には言われていますが、実際には自治体に対する「寄附」にあたります。従って、一定額以上の収入がある場合、ワンストップ特例申請等により、寄附金控除を受けることができます。

例えばお歳暮用として、5万円の寄附を行い、2万円相当のりんご（5kg×5箱）を返礼品で送った（もらった）場合、寄附金控除により、4万8千円（寄附金額から2千円を差し引いた額）を本来納めるべき税額から差し引くことが出来るため、▲5万円＋4万8千円＋2万円＝1万8千円となり、金額換算で1万8千円お得になります。換言すると2千円で2万円のりんごを買った状況となります。

小諸市といたしましては、5万円の寄附を受け、2万円のりんごを市内の事業者から調達することになりますので、寄附額の約半分が市に、約半分が市内の事業者の収入になります。つまり、この例の三者それぞれにメリットがある仕組みとなっております。ただし、所得によって、寄附金控除を受けることが出来る限度額が異なりますので注意が必要です。

詳しくは、小諸市役所企画課までお問い合わせいただくか、総務省のホームページ

をご覧ください。

それではここで、大幅に拡充いたしました返礼品をご紹介します。

■5千円コース

- ・御牧ヶ原ポータージュース（小諸特産の白土ばれいしよを贅沢に使用したスープ）
- ・浅嶽玄蕎麦（小諸産そばを使用し、香、味ともにお楽しみいただけます。）

■1万円コース

- ・りんご5kg（小諸名産のりんご。農園ごと、品種ごとにお選びいただけます。）
- ・浅間嶽 焼酎2本セット（大塚酒造の蕎麦焼酎、白土ばれいしよ焼酎）
- ・信州味噌詰合せ（味噌作り300年を誇る信州・小諸の老舗「山吹味噌」）
- ・すや久生しょうゆセット（調味料、保存料、着色料などの添加物を一切使わず天然醸造）
- ・村松商店のお米（3ツ星お米マイスターがブレンドしたおいしいお米12kg）
- ・小諸産コシヒカリ（信州特有である寒暖差が作り出した甘みあるお米7kg）

■2万円コース

- ・味工房すみれセット（季節ごとに内容が変わる小諸の特産品セット）
- ・ツルヤギフト各種（小諸の名店ツルヤのジャム、ジュースなどのギフトセット）
- ・浅間嶽 日本酒3本セット（大塚酒造の大吟醸、純米吟醸、純米酒とおちよこのセット）
- ・マンズワインセット（国内外のコンクールで多くの賞を受賞している人気のプレミアムワイン「ソラリス」を赤、白1本ずつのセット）
- ・さくさく農園のお米（平成27年度お米食味分析鑑定コンクール国際大会で金賞を受賞した「清水紀久夫」さんの作ったお米5kg）

その他、多数の返礼品を5千円から100万円までご用意しております。

インターネットのポータルサイトは「ふるさとぶらす」に掲載しております。また、平成28年12月からは「ふるさとチョイス」にも掲載予定となっております。

今後も小諸の特産品を順次ご用意させていただきますので、ご期待いただけますようお願いいたします。

●お問い合わせ先

小諸市役所企画課情報戦略係

0267-22-1700

担当：小山、山本



東京小諸会常務理事

飯高盛龍

東京小諸会副会長
会計担当

岩崎忠男

東京小諸会理事
株式会社イナガキ代表取締役

稲垣信克

〒132-005 東京都江戸川区瑞江三-1-1
電話 〇三(三三六七)〇七五二
FAX 〇三(三三六七)〇七七八

東京小諸会監事

掛川國雄

東京小諸会副会長・事務局
ホームページ担当

北村尚巳

東京小諸会理事

木俣美紀子

東京小諸会理事
会計担当

小林裕ゆたか

〒106-005 東京都港区麻布十番四-3-11-1081
Eメール 7291@cc.com.zaqn.ac.jp

東京小諸会常務理事

小宮山 栄

コミイ株式会社社長
国際著字会幹事
〒332-000 埼玉県川口市並木二-1-1-3
電話 〇四八-2501-5321

東京小諸会相談役

小山洋之介

東京小諸会副会長
会報担当

小山平六

東京小諸会副会長
松戸市はつらつクラブ連合会会長

白鳥 ひさじ

〒270-222 千葉県松戸市高塚新田三〇-1
電話 〇四七(三九二)五九五九

東京小諸会理事
GS事務所代表

白鳥 伍朗

〒130-003 横浜市鶴見区朝日町二-189-13-29
電話 〇四五(五〇四)二三七〇

東京小諸会理事
きらら会代表

下村俊子

東京小諸会監事
高級乾菓子卸
清水屋

鈴木裕子

〒101-002 東京都千代田区岩本町二-1-1-5
電話 〇三(三三八六)〇七三二

東京小諸会常務理事

須田武久

〒252-002 相模原市中央区由野台一-1-4-1-1
電話 〇四二(七五五)一六八七

東京小諸会相談役

高橋昭平

〒162-001 東京都目黒区東ヶ丘一-1-28-1-8
電話 〇三(三三三)四一八〇四一六

東京小諸会副会長

田沢雄二郎

〒183-002 東京都府中市押立町四-1-15-1-5
電話 〇四二(四八六)二〇六九

東京小諸会理事

堀 英毅

東京小諸会理事
松実高等学園理事長

松井石根

東京小諸会常務理事
造花材料製造卸
有限会社アオイ取締役

柳沢紀子

営業所 〒176-002 東京都練馬区豊玉北四-1-28-1-6
電話 〇三(三九四八)一六一(代)
FAX 〇三(三九四八)一六三九

東京小諸会会長
三和シヤッター工業株式会社 顧問

渡辺静雄

〒175-004 東京都板橋区成増二-1-3-1-1-5
電話 〇三(三九三八)五〇三一

東京小諸会
役員有志協賛

東京小諸会のホームページ

<http://komorokai.web.fc2.com/>

小諸市のホームページ

<http://www.city.komorokai.jp/>

入居者募集中 全施設 入居一時金 保証金なし

住宅型有料老人ホーム

ことぶきの家小諸



平成25年に小諸市御影に新設

新築オープンした施設。食堂からは雄大な浅間山を望み、四季の移り変わりを感じる事ができます。1階のデイサービスを利用できるため、リハビリやレクリエーション等を楽しみながら、穏やかな毎日を過ごす事ができます。

介護付き有料老人ホーム

ことぶきの家御影



四季折々の季節を感じれる施設

佐久インターから車で約10分の距離に位置し、周囲には大型ショッピングセンターがあり、足をのばせば小諸の歴史ある町並みを見ることが出来ます。雄大な浅間山の、四季折々の景色を感じながら、悠々とした生活をご提案させていただきます。

スタッフ募集中!!

UIJターンして働こう。

自然豊かな長野県で、あなたのライフスタイルに合わせて働きませんか。資格がない方、経験がない方、スキルがない方、大歓迎です。育児・介護・兼業・体力が気になる方、短時間勤務も可能です。

☎ 0267-23-1510 相談担当：北澤まで

月額 (税込) **121,439円**～

- 住宅型
- AED設置
- 医療連携
- 24H スタッフ常駐
- 個室トイレ
- エレベーター
- 看取り対応
- 要介護5可
- 認知症可
- 治療食対応
- 500
- 0円

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市御影新田池ノ上2090-1●交通/佐久平駅約6km●事業開始年月日/平成25年4月●棟造及び規模/鉄骨3階建・耐火建築物/4,065㎡●居室数及び居室面積/92部屋/14.6㎡●入居定員/92名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **142,521円**～

- 介護付き
- AED設置
- 医療連携
- 24H スタッフ常駐
- 個室トイレ
- エレベーター
- 看取り対応
- 要介護5可
- 認知症可
- 治療食対応
- 500
- 0円

●類型/介護付き老人ホーム●所在地/小諸市御影新田池ノ上2257-1●交通/佐久平駅約6km●事業開始年月日/平成21年11月●棟造及び規模/木造2階建・準耐火建築物/2,213.61㎡●居室数及び居室面積/60部屋/14.9㎡●入居定員/60名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

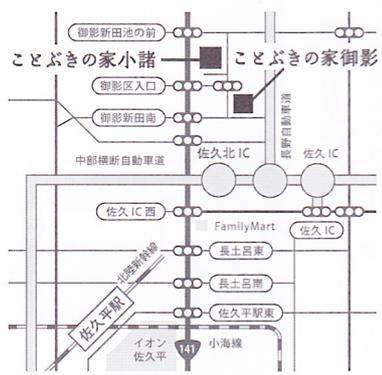
ことぶきの家総合相談室



☎ 0120-811-772

小諸市御影新田池ノ上2090-1 (ことぶきの家小諸内)

アクセス ☎384-0808 長野県小諸市御影新田池ノ上 2090-1



首都圏からのアクセス良好!

☎ 上信越道 佐久北I.Cより5分

東京駅から北陸新幹線で〔佐久平駅〕
(東京駅から72分)
北陸新幹線 佐久平駅より車で10分



契約時の安心サービス

- 1 無料お迎え無料引越し**
ご家族のご都合に合わせて、ご本人のお迎えや、お荷物の引越しサービスを無料でさせていただきます。車椅子使用のご本人も、たくさん荷物がある場合も、病院からの入居も、他施設からの転居も安心です。
- 2 ご契約場所への無料出張**
また、ご家族のご都合に合わせて、ご契約はご希望の場所に向い対応させていただきますので、遠方より何回も施設のご来訪いただく必要がなく、負担を少なくすることができます。

月額 (税込) **139,098円**～

若穂 介護付有料老人ホーム



木を基調にした、地域に開かれた施設

●類型/介護付老人ホーム●所在地/長野市若穂町内幸町8539-1●交通/須賀長野東IC約2.3km●事業開始年月日/平成22年10月●棟造及び規模/木造2階建・準耐火建築物/1,247.9㎡●居室数及び居室面積/29部屋/16.56㎡●入居定員/29名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **82,853円**～

西軽井沢 住宅型有料老人ホーム



静かな別荘地にある、緑に囲まれた施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/北佐久郡御代田町大字御代田大字大1408-157●交通/御代田駅約2km●事業開始年月日/平成17年11月●棟造及び規模/木造2階建・準耐火建築物/711.64㎡●居室数及び居室面積/21部屋/14.9～24.2㎡●入居定員/25名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **70,806円**～

軽井沢 住宅型有料老人ホーム



リゾートタウンにある静かで家庭的な施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/北佐久郡軽井沢町大字道分平小田井道上16-6●交通/原産湯分駅約4km●事業開始年月日/平成16年10月●棟造及び規模/木造2階建/173.89㎡●居室数及び居室面積/9部屋/12.9～16.2㎡●入居定員/9名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **70,806円**～

菱野 住宅型有料老人ホーム



菱野温泉に所在し、森林に囲まれた緑豊かな施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市大字菱野字以良久保765-4●交通/小諸駅約5.5km●事業開始年月日/平成17年10月●棟造及び規模/木造2階建/1,020.43㎡●居室数及び居室面積/15部屋/9.72～19.44㎡●入居定員/18名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **70,806円**～

東小諸 住宅型有料老人ホーム



民家改修型で、家庭的な生活環境の施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市大字加増1-15-15●交通/小諸駅約1.9km●事業開始年月日/平成16年4月●棟造及び規模/木造2階建/220.65㎡●居室数及び居室面積/9部屋/7.29～12.96㎡●入居定員/9名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額 (税込) **70,806円**～

美里 住宅型有料老人ホーム



民宿を改装した施設

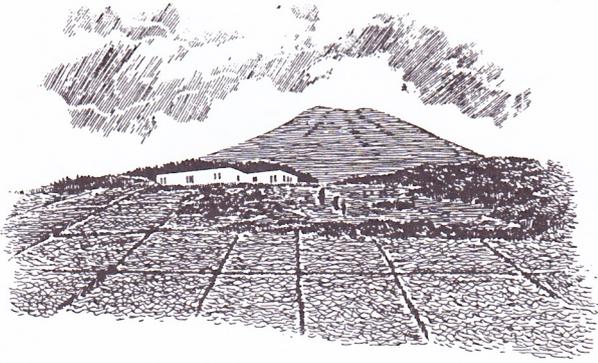
●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市大字北原1018-25●交通/美里駅約0.4km●事業開始年月日/平成16年8月●棟造及び規模/木造2階建/773.23㎡●居室数及び居室面積/13部屋/7.29～12.96㎡●入居定員/13名●契約形態/利用権方式●利用料の支払い方式/月払い方式

お問合せ資料請求 **ことぶきの家 総合相談室**

☎ 0120-811-772 受付：平日 8:00～17:00

http://kotobuki-group.jp 詳細はHPをご覧ください

株式会社 コトブキ 〒384-0083 長野県小諸市大字市790-15 TEL: 0267-23-1510 FAX: 0267-22-3662



小諸

マンスワイン株式会社
小諸ワイナリー

〒384 小諸市諸375
☎0267-22-6341 ご見学可

信州・信濃
馬子 煙の
小諸そば
の
像
園



信州・信濃
挽きたて・打ちたて・茹でたて

小諸そば

株式会社 三ツ和 小諸そば事業部
本社 〒104 東京都中央区新川2丁目13番8号 ☎03(3555)0092

旅籠
ホテル

つるや

旅籠 つるやホテル

〒384-0026 長野県小諸市本町3-2-19
TEL0267-22-0041
FAX0267-22-2741
取締役社長 小林 隆志
小林 敦子

健康を贈る

山吹味噌の特長一

天然、自然の条件を何よりも尊重し
味噌に最適な原料を選び
昔ながらのみそ造りの長所を守り
量産にこだわらず、自然の味のみを
追求しています。

味噌づくり300有余年——

山吹味噌

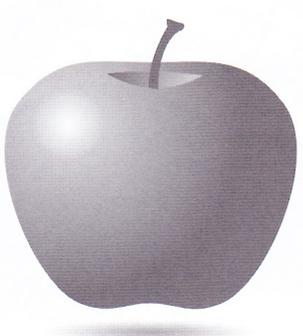
信州味噌株式会社

「布引温泉こもろ」は、
「牛に引かれて善光寺に行ったおばあさん、
牛が観音様の化身だったと知り改心して
幸せに暮らしたとさ。」
そんな伝説の伝わる布引観音近くにあり、
お部屋からは噴煙を今でも上げている
浅間山が一望できます。



布引温泉 こもろ

〒384-0071 長野県小諸市大久保 620-3
tel:0267-22-2288 fax:0267-22-2431
<http://nunohikionsen.info/>
e-mail info@nunohikionsen.info
運営 株式会社フードサービスシワ
〒384-1105
長野県南佐久群小海町大字千代里 2392-1

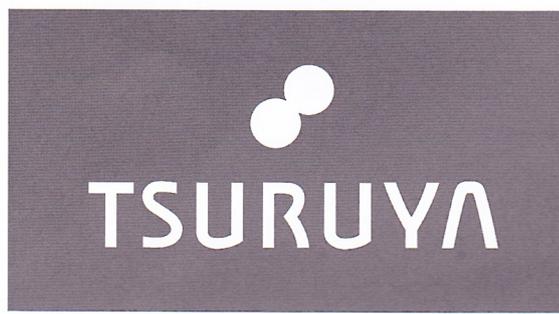


りんご巨峰直売・宅配発送
りんご狩り・信州特産みやげ品

大池りんご園

〒389-0512 長野県東御市滋野牧家
国道18号線沿い

本店：Tel. 0268-62-1866
直売所：Tel. 0268-62-2695
Fax. 0268-62-1866



TSURUYA

新鮮・さわやか・ハーモニー
株式会社ツルヤ

小諸店 Tel(0267)23-3311	広丘店 Tel(0263)51-5811
小野沢店 Tel(0267)62-5511	並柳店 Tel(0263)88-6411
臼田店 Tel(0267)82-3511	山形店 Tel(0263)98-4911
丸子店 Tel(0268)42-3211	アイシティ21 Tel(0263)98-4911
みかげ店 Tel(0267)23-2411	徳間店 Tel(026)263-6611
小諸東店 Tel(0267)23-6111	長野南店 Tel(026)291-1311
上田中央店 Tel(0268)23-8711	稲荷山店 Tel(026)274-7011
佐久中央店 Tel(0267)54-7011	稲坂西店 Tel(026)242-7011
神畑店 Tel(0268)23-6411	一本木店 Tel(0269)24-0611
佐久穂店 Tel(0267)86-5411	松代店 Tel(026)215-6511
立科店 Tel(0267)56-3711	小布施店 Tel(026)214-8811
山口店 Tel(0268)29-4511	青木島店 Tel(026)286-6711
御代田店 Tel(0267)32-7811	飯山店 Tel(0269)67-9011
軽井沢店 Tel(0267)46-1811	長野中央店 Tel(026)217-1411
塩田店 Tel(0268)37-1711	伊那福島店 Tel(0265)71-7811
塩のう店 Tel(0268)64-9511	赤穂店 Tel(0265)98-6711
なぎさ店 Tel(0263)29-4611	営業本部 Tel(0267)22-3311
平田店 Tel(0263)59-6811	

営業時間 あき9時30分 ▶ よる8時

尾沼りんご園

信州小諸
小諸市観光協会指定



発祥農園

**りんご狩り
と生産直売**

TEL・FAX 0267-22-6126
〒384-0043 長野県小諸市諸字中村 87-1
<http://www.onuma-apple.jp>

★ 乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO

美しい北極星の下で、乾杯しよう。

サッポロビールのビールづくり。
ルーツは、北海道の開拓使麦酒醸造所。
そのシンボル、北極星が、今のサッポロビールの星。
140年近くも前、この同じ星空の下で、ビールづくりに挑戦した開拓者たち。
そんな彼らの想いを、繋げてゆきたい。

乾杯をもっとおいしく、サッポロビール。



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。 www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

小諸高原ゴルフコース



標高1,000メートル、浅間山麓に広がる高原コース。
北アルプス、八ヶ岳、富士山の山々が一望できます。
フェアウェイ乗り入れが可能なGPSナビ付きカートで快適にプレーしていただきます。

☎0267-23-1811

〒384-0045 長野県小諸市滝原1101

中棚荘

「千曲川旅情の詩」の一節にある、千曲川
いざよふ波の岸近き宿にのぼりて
濁り酒濁れる飲みて…の岸近き宿は
中棚荘を詠ったものです。



島崎藤村

千曲川旅情・文学の温泉宿

信州／小諸
島崎藤村の里
政府登録旅館

中棚荘

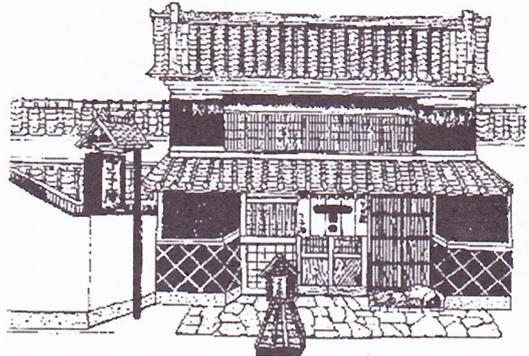
〒384-8558 長野県 小諸市 古城 中棚

TEL 0267-22-1511 FAX 0267-22-9191

<http://www.nakadanasou.com/>

E-mail:nakadana@komoro.co.jp

信州 下 そば蔵 丁子庵



御宴会 ご予約承ります。

4月～11月 水曜日 定休
12月～3月 火水曜日 定休

〒384-0026 長野県小諸市本町2-1-3

TEL 0267-23-0820 FAX 0267-22-0499

<http://choujiya.jp>

交通のご案内

- お車／小諸I.Cより車で5分
- 電車／しなの鉄道小諸駅より徒歩5分

信濃國浅麓秘伝承小諸蕎麦の宗家

専用種信濃一号

認定農業法人信州蕎麦ルネサス(株)直営農場 38ヘクタール
契約栽培 JA北信州みゆき JA信州うえだ 30ヘクタール

手打蕎麦舗(有)

草笛

- 草笛総本店 〒384-0032
小諸市古城1丁目1番地10番
TEL.0267-22-2105 (大代)
FAX.0267-22-2103 (代)
- 草笛遊子亭 TEL.0267-23-4513 (代)
- 草笛明日香 TEL.0267-22-0789 (代)
- 上田草笛本店 TEL.0268-24-8221 (代)
- 草笛長野店 TEL.026-228-7373 (代)
FAX.026-228-7309
- 佐久の草笛 TEL.0267-66-3939 (代)
FAX.0267-66-3935
- 新幹線長野駅
ミドリ TEL.026-219-6651 (代)
FAX.026-219-6652



草笛

天正十八年

小諸城主とられた仙石秀久公の遺した

小諸蕎麦切り四百年の伝統を造る

信州信濃の蕎麦街道本舗

躍進する香坂グループ

株式会社 香 坂 建 設

信 濃 培 養 土 株 式 会 社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シンコー・エステート

代表取締役 香坂 勝

本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184 (代)

信濃培養土(株) ☎0267-22-5439

株式会社 シンコー・エステート ☎0267-22-1184

「標高 2000m の絶景」

「朝は雲海 夜は満点の星空」



高峰高原ホテル

TEL.0267-25-3000

標高 2000m 天空の絶景宿

〒384-0041 長野県小諸市高峰高原 704
<http://www.takamine-kougen.co.jp>

身近なコンビニから航空機まで、コミーミラーは、安全・防犯・サービス・効率アップに役立っています。

航空機では忘れ物やセキュリティのチェックに!!



主人を助けることができました

私がミラーを見たおかげで、主人(ぼんやり教授!)は手荷物入れの中にパスポートとクレジットカードを置き忘れてなくて済んだのです。

リア様(コロラド州デンバー在住)



本当にこのミラーに救われました

手荷物を取り出していると、中に取り付けられたミラーに映っていたんですよ。

手荷物入れの隅っこに転がっている私の常備薬が! 本当にあのミラーには救われましたよ。

ゲリー様(テキサス州ヒューストン在住)



死角に気づきばり

KomyMirror®

コミー株式会社 代表取締役 小宮山 栄 (東京小諸会常務理事)

〒332-0034 埼玉県川口市並木1-5-13 www.komy.co.jp mail@komy.co.jp

口代表(営業本部など) TEL: 048-250-5311 FAX: 048-250-5318

私たちは売上げの拡大よりも“出会いの喜び”“創る喜び”“信頼の喜び”を味わえる仕事を大切にしています。

三和シャッターはシャッター・ドア・パーティションなど 建材で“暮らし”を支えます。



マンションドア



トイレブース



自動ドア

三和グループ

[国内]

- 三和シャッター工業株式会社
- 昭和フロント株式会社
- 沖縄三和シャッター株式会社
- 三和タジマ株式会社
- 三和エクステリア新潟工場株式会社
- ベニックス株式会社
- 昭和建産株式会社
- 田島メタルワーク株式会社
- 株式会社吉田製作所
- 株式会社メタルワーク関西
- 林工業株式会社
- 株式会社エース
- 三和電装エンジニアリング株式会社
- 三和ミタカ株式会社

[海外]

- OVERHEAD DOOR CORPORATION(米国)
- NOVOFERM GROUP(欧州)
- 上海宝産三和門業有限公司(中国)
- 上海諾沃芬門業有限公司(中国)
- 安和金属工業股份有限公司(台湾)
- VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD.(ベトナム)
- SANWA SHUTTER(H.K.)LTD.(香港)
- DONGBANG NOVOFERM INC.(韓国) 他



三和シャッター工業株式会社

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-3-5

http://www.sanwa-ss.co.jp/

Tel. 03-3346-3011

顧問 渡辺 静雄 (小諸市紺屋町) 東京小諸会会長



清酒

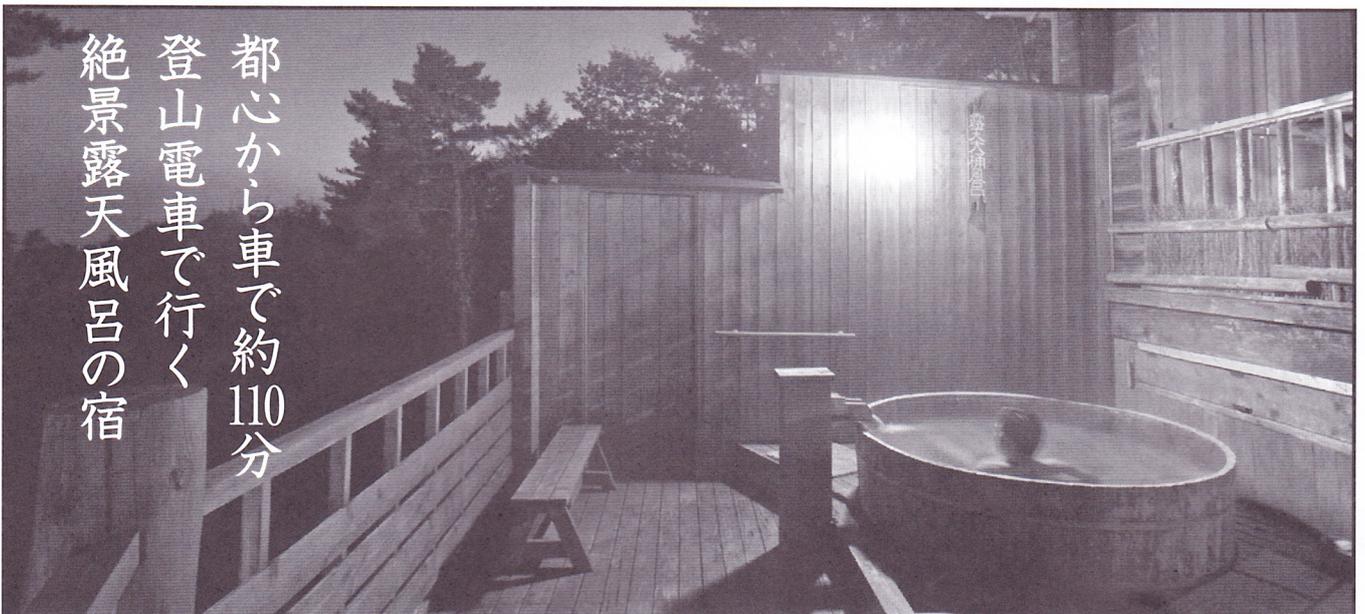
アルコール分15.0度以上
16.0度未満

原材料名/米・米こうじ
醸造アルコール
精米歩合/60%

製造年月

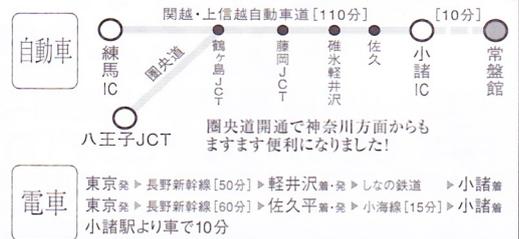
小諸産低農薬米と
諸の湧水
「**奪天の泉**」で
仕込んだ
小諸の清酒です

大塚酒造株式会社
長野県小諸市大手二―一―二四
電話・FAX〇二六七―二一〇〇〇二



都心から車で約110分
登山電車で行く
絶景露天風呂の宿

信州小諸 常盤館 菱野温泉
〒384-0041 長野県小諸市菱平762-2
TEL. 0267-22-0516
<http://www.tokiwakan.com>



介護のエキスパート のぞみグループの住宅型有料老人ホーム

～信州・佐久～

のぞみサンピア

天然温泉付住宅型有料老人ホーム

営業主体：株式会社エスポワール

入居者募集

充実した医療・介護サポートで安心して生活できます

関連医療法人や訪問看護ステーション、協力提携医療機関、館内にあるヘルパーステーション・デイサービスセンターが安心を支えます。フロントスタッフは24時間常駐しています。



浅間山を望む景観も魅力

ペット同居可 (一般型のみ)

併設 テニスコート レストラン ベーカリースパエステ ほくし処

“のぞみサンピア佐久” 敷地内

本館介護居室

月額利用料 **151,320円～195,600円** (税抜)
内訳/家賃・水道光熱費・食費
◎別途/冬期暖房費、介護保険利用料 ◎全個室

入居一時金 一括契約 **0万円～432万円** (非課税)

月額契約 一括契約の入居一時金の60分の1を、毎月お支払いいただきます。
※1年分の家賃相当をまとめてお支払いいただく年契約もご用意。

●初期30%を入居月に償却。残りを5年償却させていただきます。●償還金額=入居一時金×0.70×(60月-経過月数)/60月●5年経過後は入居一時金は一切ありません。毎月の費用のみで入居いただけます。

本館一般居室

月額利用料 **164,390円～258,910円** (税抜)
内訳/家賃・水道光熱費・食費
◎別途/冬期暖房費、介護保険利用料 ◎全個室 (非課税)

入居一時金 一括契約 **500万円～1,700万円**

月額契約 一括契約の入居一時金の120分の1を、毎月お支払いいただきます。
※1年分の家賃相当をまとめてお支払いいただく年契約もご用意。

その他 必要な方のみ ペット共益費・駐車場費用

※介護居室へ移られる場合も、10年経過後は入居一時金は一切必要ございません。毎月の費用のみで入居いただけます。



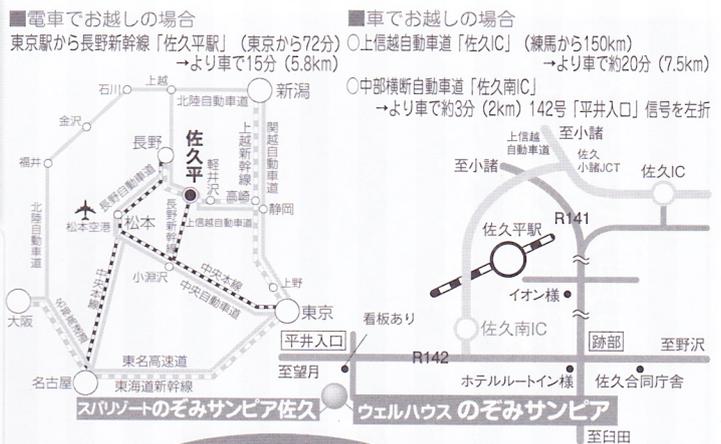
別館介護居室

月額利用料 **108,000円～135,270円** (税抜)
内訳/家賃・管理費・水道光熱費・食費
◎別途/冬期暖房費、介護保険利用料 ◎全個室

入居一時金 なし

■概要 ●所在地/佐久市根岸 3203-2 ●類型/住宅型有料老人ホーム ●介護保険/在宅サービス利用可 ●権利形態/利用権方式 ●事業開始平成22年12月 ●協力医療機関/浅間総合病院・佐久総合病院・甘利医院・甘利歯科医院 ●交通/佐久平駅より車で約15分、「佐久南IC」から車で約3分
◆本館●入居条件等/(一般居室)概ね自立生活が可能の方(介護居室)要介護2～要介護5の認定を受けている方 ●総居室数73室：一般室43室(22.6㎡～62.9㎡)介護室30室(19.8㎡～40.62㎡) ●構造/鉄筋コンクリート造銅板葺地上5階地下1階建 ●利用料の支払い/一括もしくは年払いと月払いの併用
◆別館介護居室●入居条件等/要介護1～要介護5の認定を受けている方 ●総居室数85室全個室(18.1㎡) ●構造/鉄筋コンクリート地上3階 ●利用料の支払い/月払い

首都圏からのアクセス良好!



◆お問合せ・資料請求は下記までお気軽にどうぞ

のぞみグループ本部

☎0267-22-9274

〒384-0006 長野県小諸市与良町3-4-17

FAX 0267-26-1637 (甘利医院 2F)

医療法人清秀会 甘利医院/社会福祉法人のぞみ福祉会/株式会社エスポワール/株式会社シルバーケアのぞみ/株式会社のぞみ/有限会社エスポワール

http://www.nozomi-g.co.jp

風景がごちそう! 浅間山・佐久平一望の天然温泉 スパリゾートのぞみサンピア佐久

ベーカリー レストラン・味処
レストランではワンちゃんのお食事もできます!

ドッグラン

露天風呂つき 日帰り温泉

営業 10:30～20:30 毎月第三木曜定休
佐久市根岸 3203-2 0267-63-3900 代表